

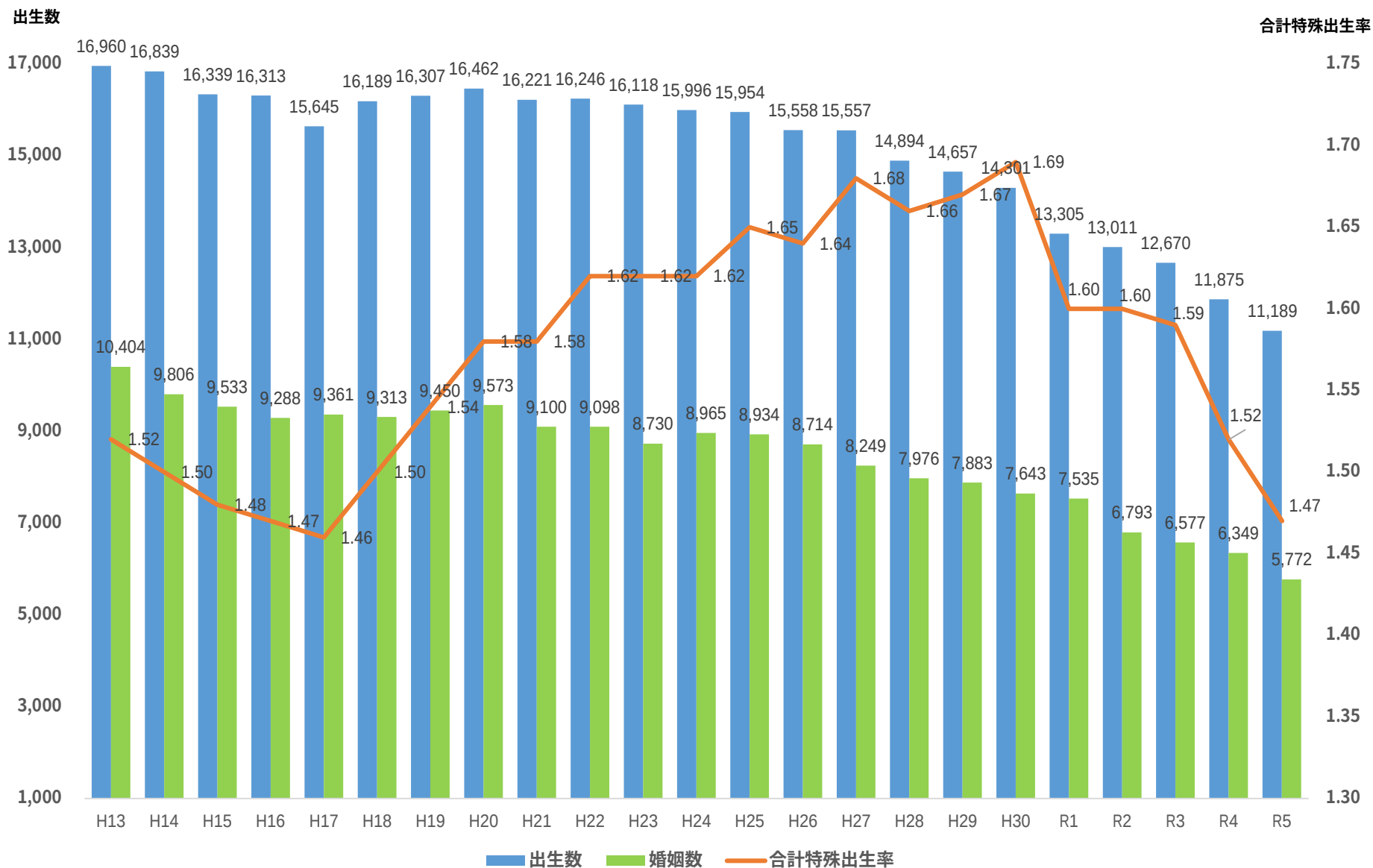
こども・若者、子育て世代を 取り巻く状況について

令和6年(2024年)7月17日
健康福祉部



1．少子化と人口構成の推移

熊本県の出生数と合計特殊出生率と婚姻数の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計（確定数）の概況」を基に子ども未来課作成。

※R5のみ厚生労働省「人口動態統計月報年計（概数）の概況」を基に子ども未来課作成。

市町村における合計特殊出生率（平成30年～令和4年）

※建制順

建制順	市町村名	合計特殊出生率	順位	
			今回	前回★
1	熊本市	1.53	42	44
2	八代市	1.57	41	29
3	人吉市	1.75	13	8
4	荒尾市	1.60	36	24
5	水俣市	1.59	39	27
6	玉名市	1.63	30	35
7	天草市	1.78	9	11
8	山鹿市	1.66	23	38
9	菊池市	1.66	23	30
10	宇土市	1.63	30	36
11	上天草市	1.67	21	33
12	宇城市	1.62	34	37
13	阿蘇市	1.65	25	18
14	合志市	1.88	3	9
15	美里町	1.40	44	43
16	玉東町	1.63	30	39
17	和水町	1.51	43	25
18	南関町	1.58	40	31
19	長洲町	1.71	15	16
20	大津町	1.74	14	10
21	菊陽町	1.78	9	13
22	南小国町	1.70	18	26
23	小国町	1.87	4	20

建制順	市町村名	合計特殊出生率	順位	
			今回	前回★
24	産山村	1.65	25	32
25	高森町	1.71	15	21
26	南阿蘇村	1.70	18	40
27	西原村	1.60	36	41
28	御船町	1.64	28	45
29	嘉島町	1.85	5	12
30	益城町	1.84	6	22
31	甲佐町	1.60	36	14
32	山都町	1.81	8	4
33	氷川町	1.63	30	42
34	芦北町	1.65	25	34
35	津奈木町	1.62	34	23
36	錦町	1.95	1	1
37	あさぎり町	1.76	11	5
38	多良木町	1.71	15	6
39	湯前町	1.76	11	17
40	水上村	1.92	2	3
41	相良村	1.70	18	7
42	五木村	1.64	28	28
43	山江村	1.82	7	2
44	球磨村	-	-	19
45	苓北町	1.67	21	15

出典：厚生労働省「平成30年～令和4年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況」を基に子ども未来課作成。

※★前回（平成25年～平成29年）の順位

※5年に1度公表。次回は、令和10年度（R5～R9年度（H30～R4年度は令和5年度に公表））

※「人口動態保健所・市区町村別統計」は、人口動態統計として公表している各事象（出生、死亡、死産、婚姻及び離婚）について、国勢調査の年を中心とした5年間の日本における日本人のデータ＊を基に、保健所及び市区町村（区は特別区及び行政区としている。以下同じ。）ごとに作成したものであり、昭和58年～62年を初回とし、今回が8回目である。本概況は、令和2年を中心とした平成30年～令和4年の人口動態統計（確定数）の出生数及び死亡数、並びに令和2年国勢調査による日本人人口（確定数）を基に、出生に関する指標である合計特殊出生率と、死亡に関する指標である標準化死亡比について市区町村別に作成したものである。なお、市区町村別の合計特殊出生率及び標準化死亡比は、人口規模の小さい地域では、出生数や死亡数の少なさに起因して数値が不安定となるため、小地域の指標の推定に有力なベイズ推定を用いて推定した。

＊日本に住んでいる日本人に係る日本において発生した各事象の全数（前年以前に発生したものを除く。）を対象としている。

市町村別の人口と出生数（令和4年）

建制順	市町村名	人口 (R4.10.1)	出生数
1	熊本市	737,850	5,792
2	八代市	120,436	666
3	人吉市	30,227	195
4	荒尾市	49,528	268
5	水俣市	22,495	122
6	玉名市	62,919	402
7	天草市	72,696	366
8	山鹿市	47,634	271
9	菊池市	45,483	274
10	宇土市	35,689	260
11	上天草市	23,466	100
12	宇城市	56,236	360
13	阿蘇市	24,178	123
14	合志市	63,037	577
15	美里町	8,801	27
16	玉東町	5,030	38
17	和水町	8,992	45
18	南関町	8,544	41
19	長洲町	14,926	85
20	大津町	35,840	304
21	菊陽町	44,243	431
22	南小国町	3,644	19
23	小国町	6,368	22

建制順	市町村名	人口 (R4.10.1)	出生数
24	産山村	1,345	10
25	高森町	5,610	22
26	南阿蘇村	9,614	39
27	西原村	6,572	38
28	御船町	16,408	110
29	嘉島町	9,826	81
30	益城町	32,799	272
31	甲佐町	9,971	46
32	山都町	12,735	51
33	氷川町	10,672	44
34	芦北町	14,823	67
35	津奈木町	4,123	14
36	錦町	10,027	81
37	あさぎり町	14,203	71
38	多良木町	8,701	39
39	湯前町	3,494	17
40	水上村	1,945	8
41	相良村	3,906	22
42	五木村	880	2
43	山江村	3,131	15
44	球磨村	2,018	8
45	苓北町	6,701	30

熊本県と全国の出生数の年次推移、出生順位別

○出生数の年次推移、出生順位別 (人口動態統計)
(熊本県)

単位:人

出生順位	S 6 0 年		H 7 年		H 1 7 年		H 2 2 年		H 2 7 年		H 2 8 年		H 2 9 年	
	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合
総数	23,183	100.0%	17,895	100.0%	15,645	100.0%	16,246	100.0%	15,577	100.0%	14,894	100.0%	14,657	100.0%
第1子	9,223	39.8%	7,844	43.8%	7,080	45.3%	7,035	43.3%	6,661	42.8%	6,143	41.2%	5,926	40.4%
第2子	8,903	38.4%	6,274	35.1%	5,785	37.0%	5,830	35.9%	5,354	34.4%	5,295	35.6%	5,253	35.8%
第3子以上	5,057	21.8%	3,777	21.1%	2,780	17.8%	3,381	20.8%	3,562	22.9%	3,456	23.2%	3,478	23.7%

出生順位	H 3 0 年		R1年		R 2 年		R 3 年		R4年		対前年 増減
	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	
総数	14,301	100.0%	13,305	100.0%	13,011	100.0%	12,670	100.0%	11,875	100.0%	-795
第1子	5,691	39.8%	5,424	40.8%	5,353	41.1%	5,033	39.7%	4,721	39.8%	-312
第2子	5,178	36.2%	4,687	35.2%	4,533	34.8%	4,354	34.4%	4,144	34.9%	-210
第3子以上	3,432	24.0%	3,194	24.0%	3,125	24.0%	3,283	25.9%	3,010	25.3%	-273

(全国)

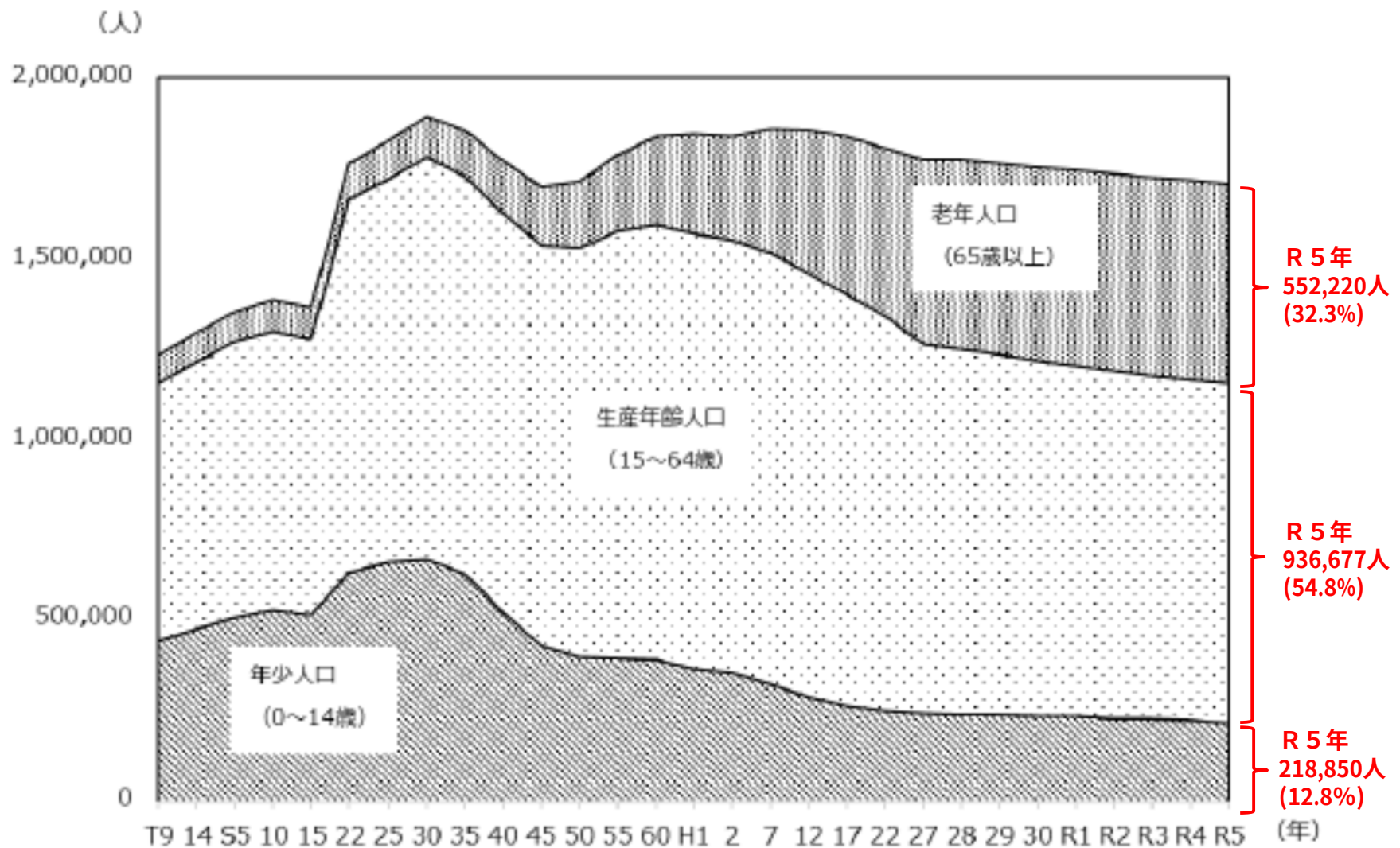
単位:人

出生順位	昭和60年		平成7年		H 1 7 年		H 2 2 年		H 2 7 年		H 2 8 年		H 2 9 年	
	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合
総数	1,431,577	100.0%	1,187,064	100.0%	1,062,530	100.0%	1,071,304	100.0%	1,005,677	100.0%	976,678	100.0%	946,065	100.0%
第1子	602,005	42.1%	567,530	47.8%	512,412	48.2%	508,216	47.4%	476,762	47.4%	459,751	47.1%	439,257	46.4%
第2子	562,920	39.3%	428,394	36.1%	399,307	37.6%	389,486	36.4%	362,669	36.1%	355,784	36.4%	348,833	36.9%
第3子以上	266,652	18.6%	191,140	16.1%	150,811	14.2%	173,602	16.2%	166,246	16.5%	161,443	16.5%	157,975	16.7%

出生順位	H 3 0 年		R1年		R 2 年		R3年		R 4 年		R5年		対前年 増減
	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	出生数	割合	
総数	918,400	100.0%	865,234	100.0%	840,835	100.0%	811,622	100.0%	770,759	100.0%	727,277	100.0%	-43,482
第1子	426,407	46.4%	400,948	46.3%	392,538	46.7%	371,499	45.8%	354,614	46.0%	338,903	46.6%	-15,711
第2子	338,094	36.8%	315,715	36.5%	304,028	36.2%	294,029	36.2%	281,018	36.5%	266,193	36.6%	-14,825
第3子以上	153,899	16.8%	148,571	17.2%	144,269	17.2%	146,094	18.0%	135,127	17.5%	122,181	16.8%	-12,946

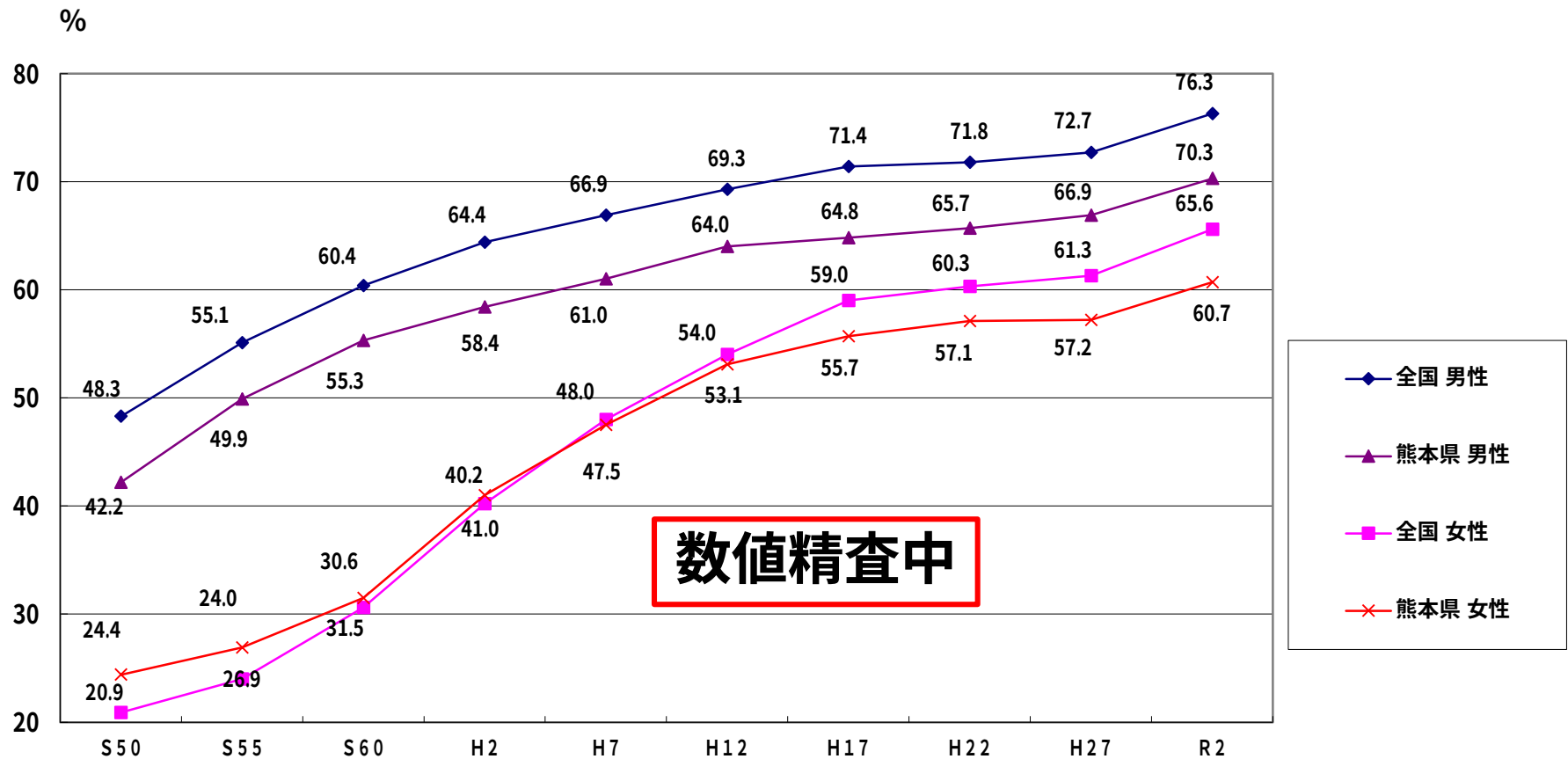
※速報値→確定値に修正

熊本県の年齢3区分別人口の推移



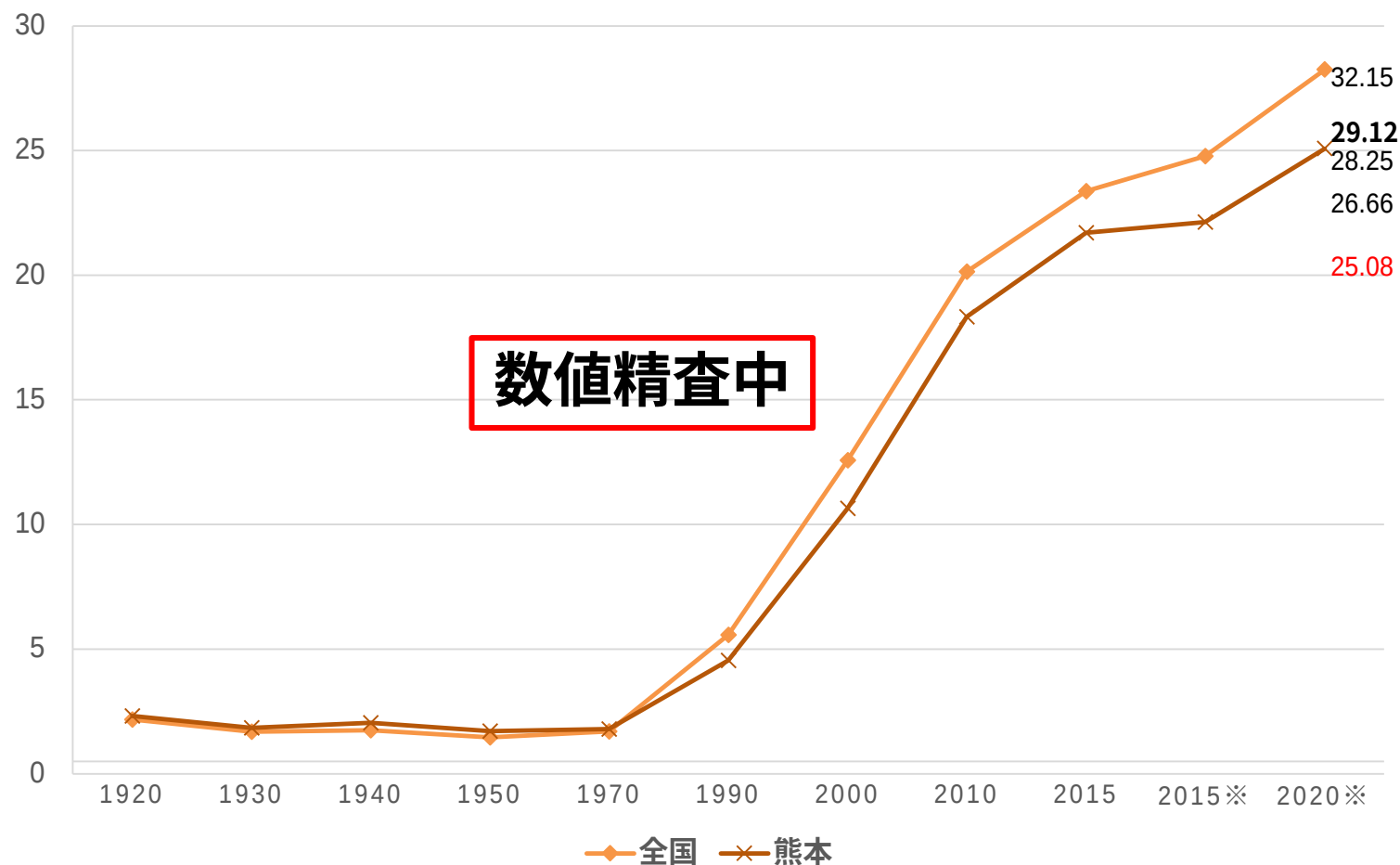
2. 少子化関係

全国と熊本県の未婚率の推移（25歳～29歳）



出典：国勢調査

全国と熊本県の50歳時未婚率の推移(男性)

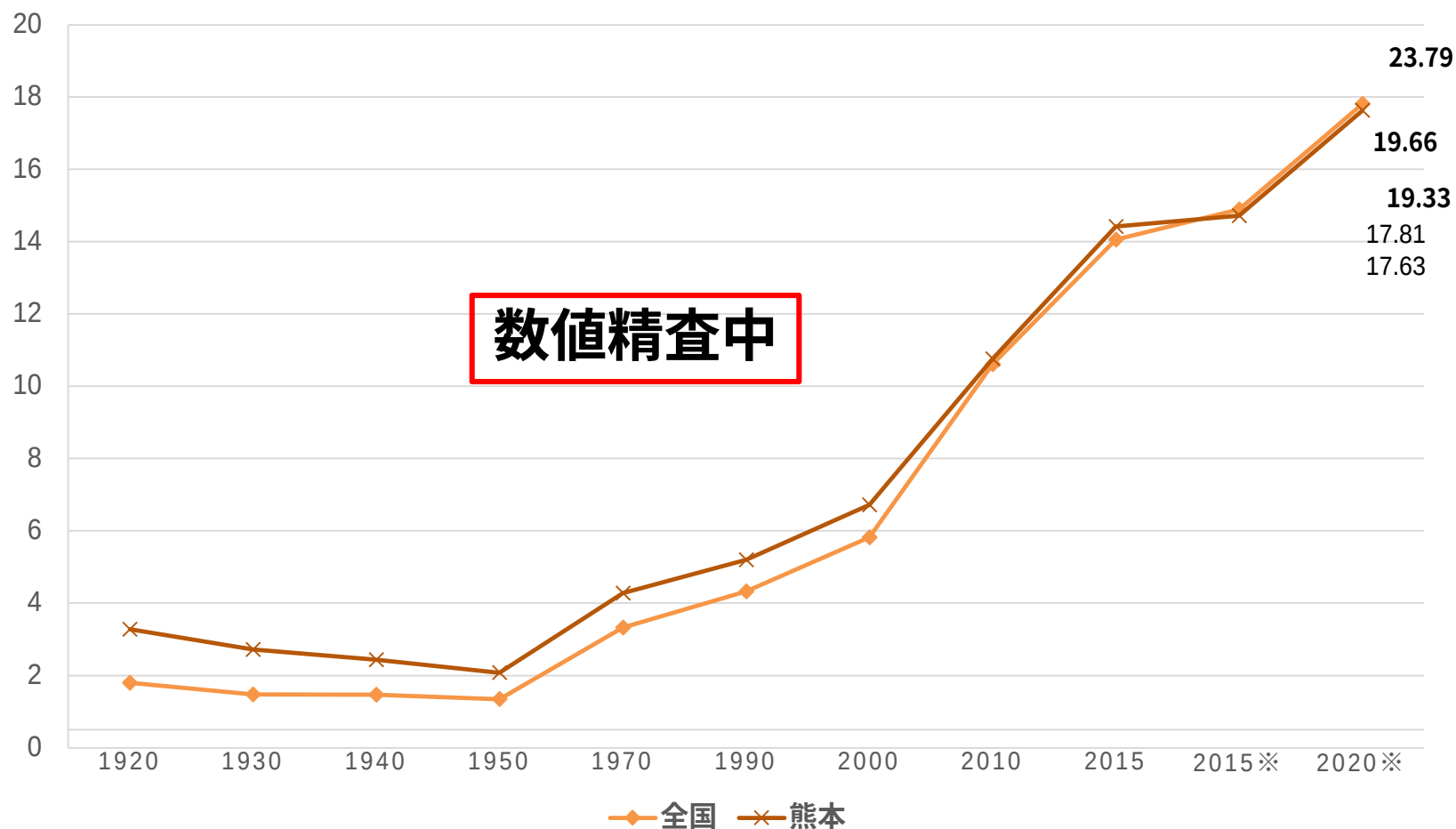


出典：国立社会保障・人口問題研究所

国立社会保障・人口問題研究所の算定による。45～49歳と50～54歳未婚率（配偶関係不詳を除く人口を分母とする）の平均値。
全国は沖縄県を含む。

*配偶関係不詳補完結果に基づく。

全国と熊本県の50歳時未婚率の推移(女性)

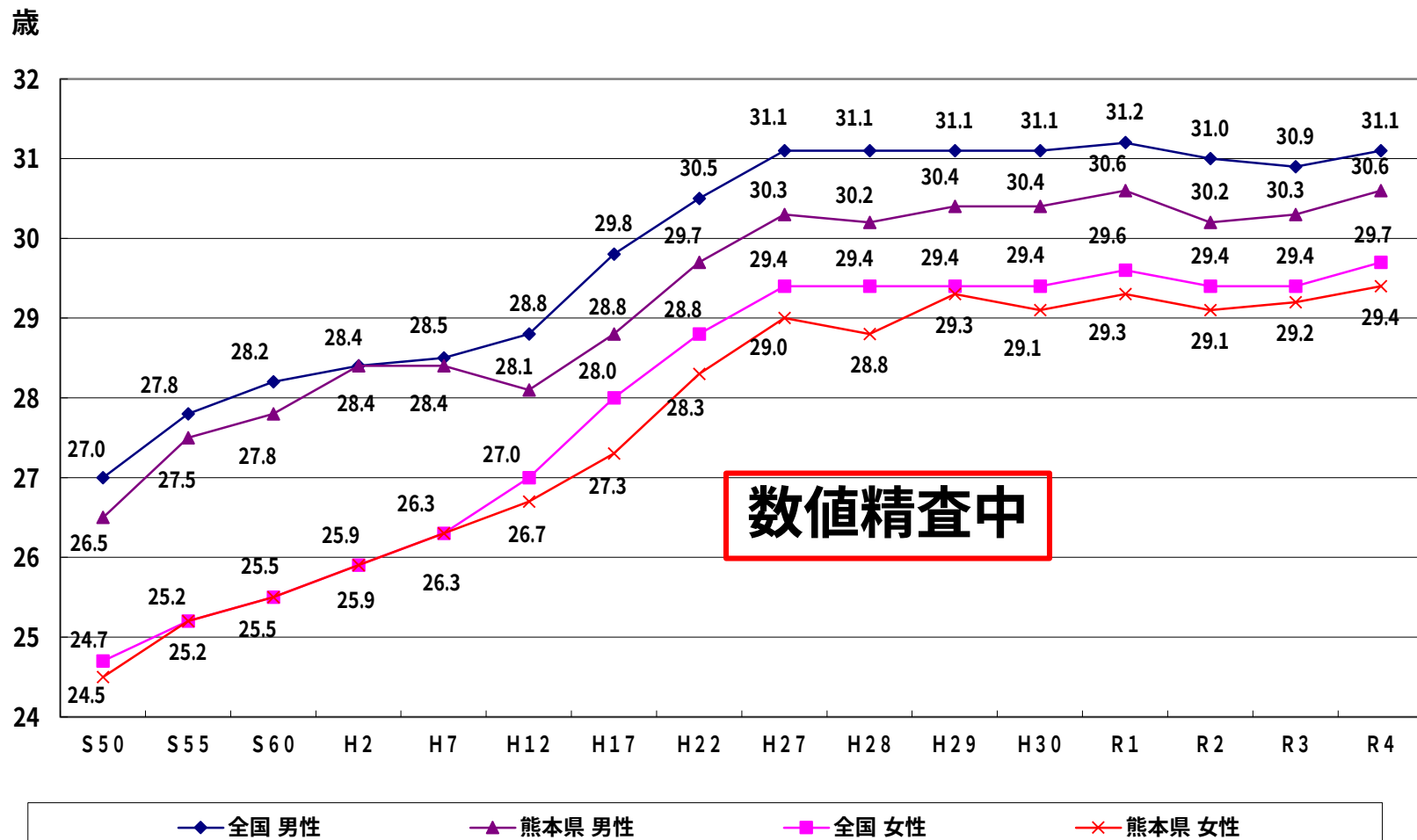


出典：国立社会保障・人口問題研究所

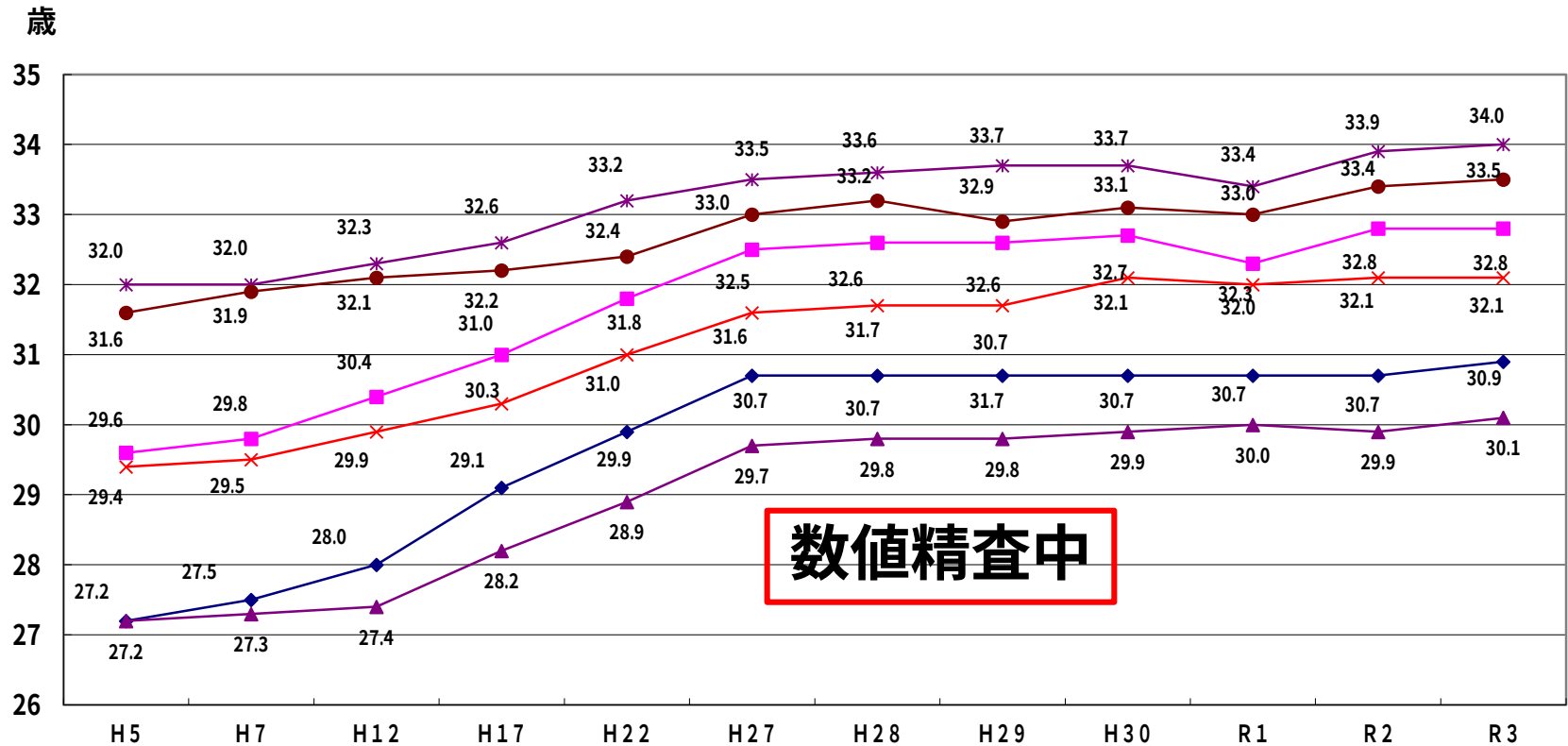
国立社会保障・人口問題研究所の算定による。45～49歳と50～54歳未婚率（配偶関係不詳を除く人口を分母とする）の平均値。全国は沖縄県を含む。

*配偶関係不詳補完結果に基づく。

全国と熊本県の平均初婚年齢の推移



全国と熊本県の母親の平均出生時年齢の年次推移



◆ 全国 第1子出生時の母の平均年齢

▲ 熊本県 第1子出生時の母の平均年齢

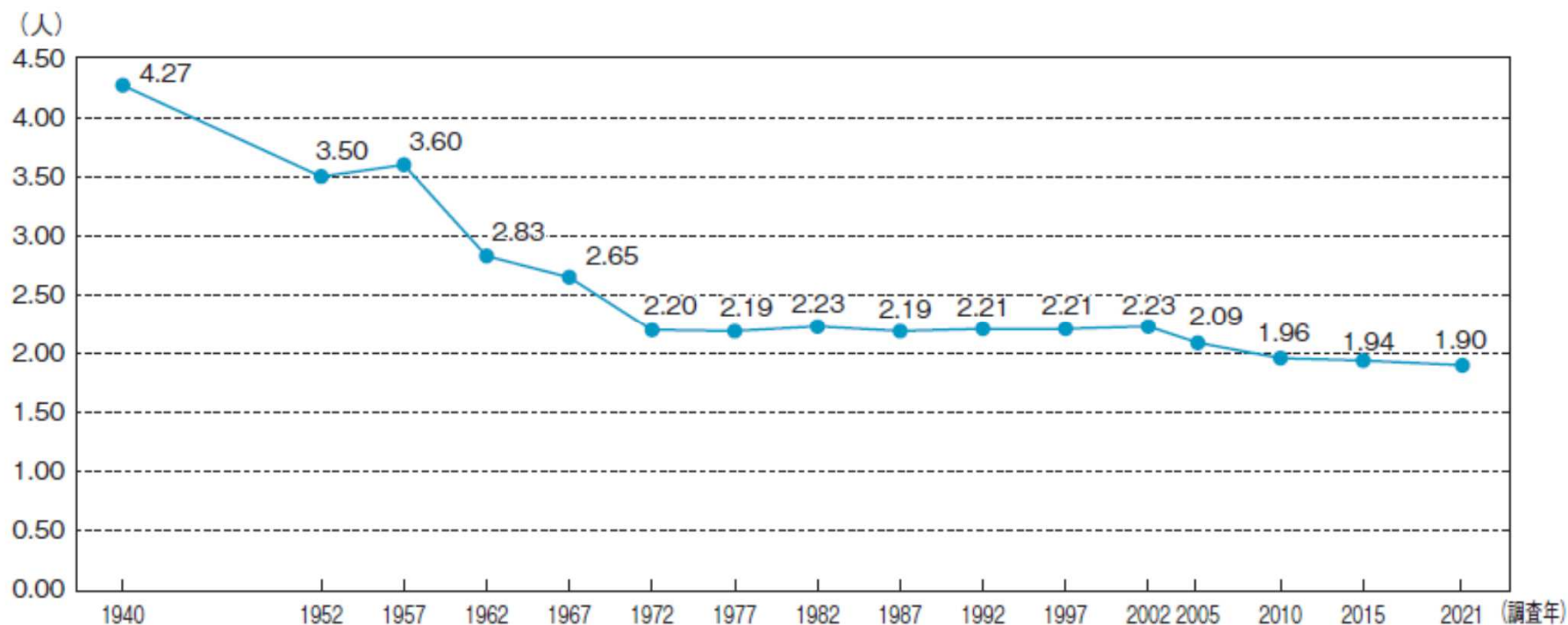
■ 全国 第2子出生時の母の平均年齢

✕ 熊本県 第2子出生時の母の平均年齢

✱ 全国 第3子出生時の母の平均年齢

● 熊本県 第3子出生時の母の平均年齢

夫婦の完結出生児数の推移（全国）



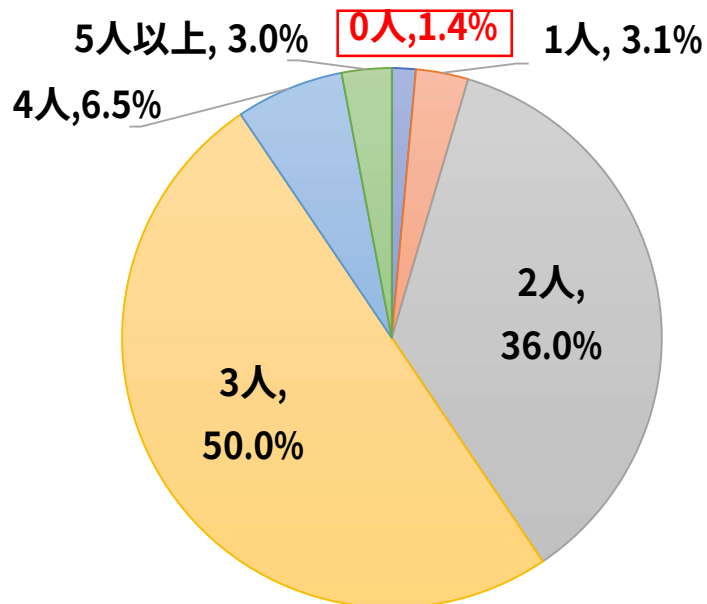
（出典）国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」（夫婦調査）

（注１）対象は結婚持続期間15～19年の初婚同士の夫婦（出生児数不詳を除く。）。

（注２）第15回以前（ただし、第1・2回調査を除く。）は妻の年齢50歳未満、第16回は妻が50歳未満で結婚し、妻の調査時年齢55歳未満の初婚同士の夫婦について集計（ただし、第3・4・6回調査では妻50歳未満で非初婚同士の夫婦も含む。）。

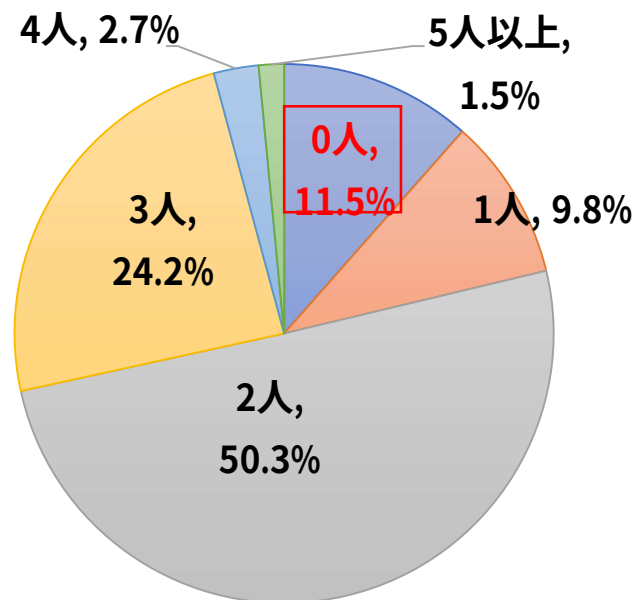
理想のこどもの人数（県民アンケート）

社会人



		度数	%	有効%
有効	0人	123	1.4%	1.4%
	1人	268	3.1%	3.1%
	2人	3078	36.0%	36.0%
	3人	4277	50.0%	50.0%
	4人	554	6.5%	6.5%
	5人以上	256	3.0%	3.0%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	

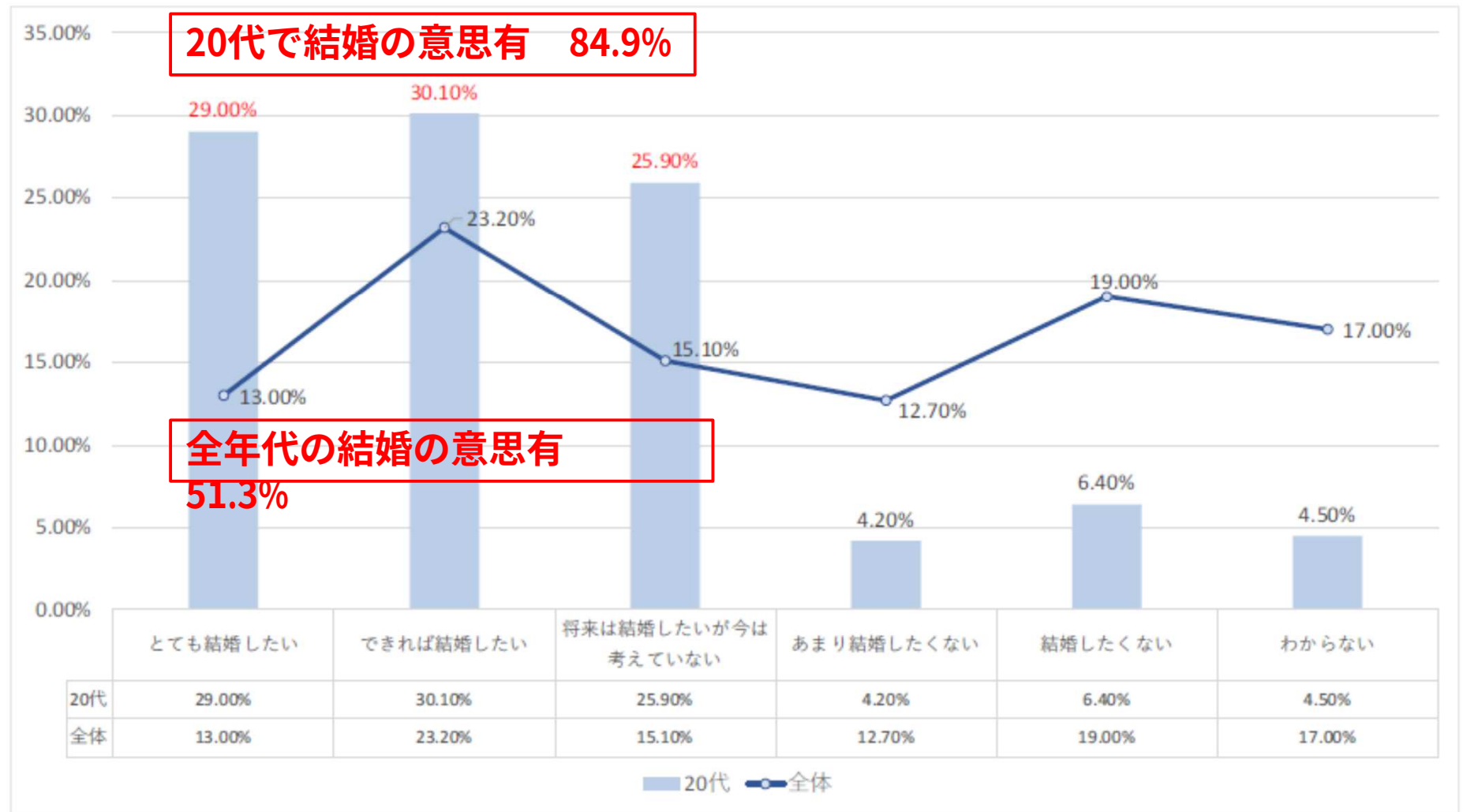
学生・生徒



		度数	%	有効%
有効	0人	443	11.5%	11.5%
	1人	376	9.8%	9.8%
	2人	1938	50.3%	50.3%
	3人	933	24.2%	24.2%
	4人	104	2.7%	2.7%
	5人以上	58	1.5%	1.5%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	

3. 未婚化・晩婚化関係

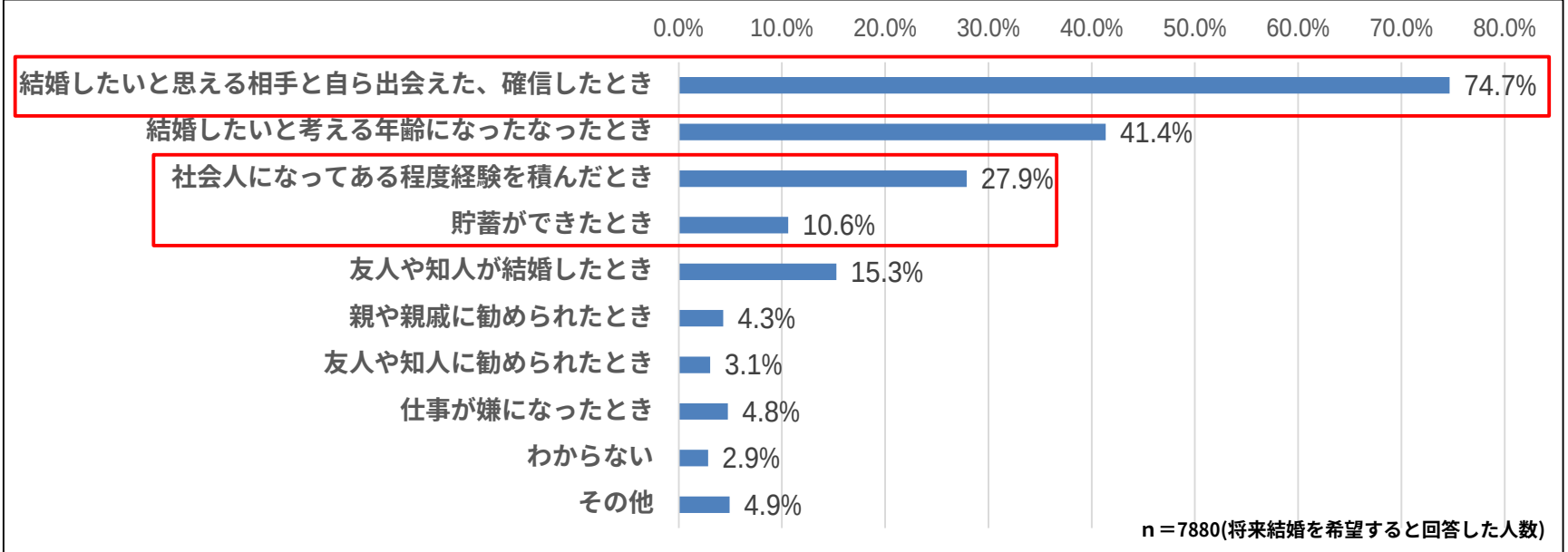
県内20代の結婚の意思（県民アンケート/社会人）



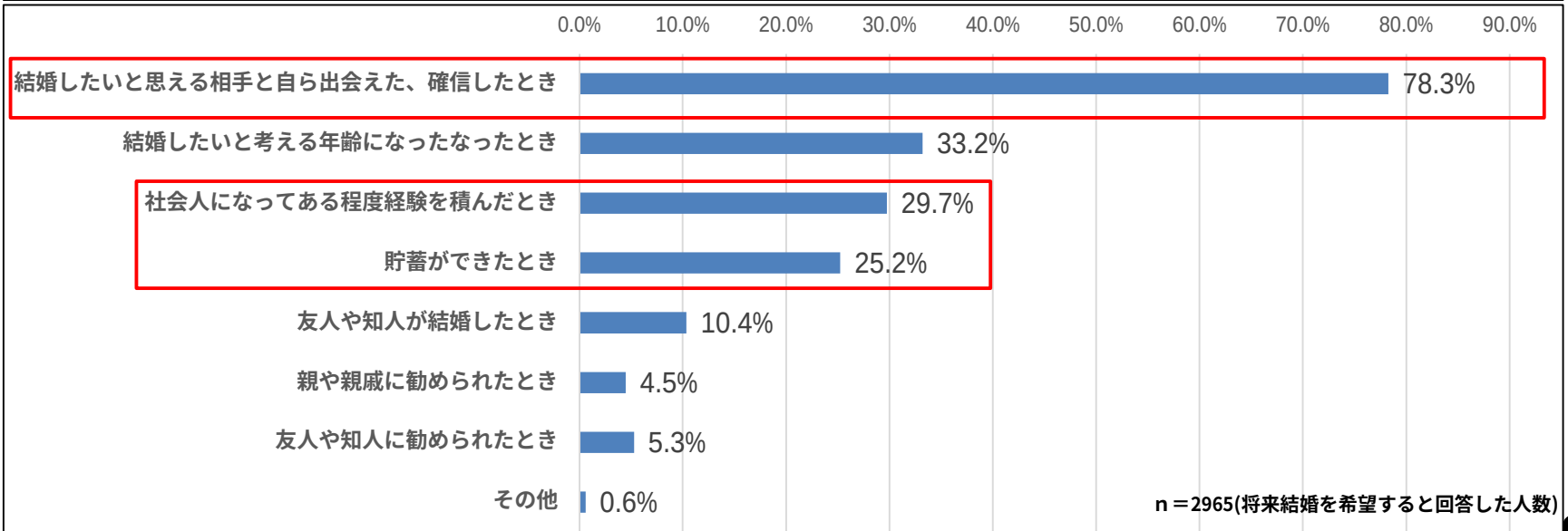
Q2年齢×Q14結婚希望（※表は一部抜粋）
 $\chi^2=380.6$ 自由度=20 $p<0.001$

結婚につながるきっかけやタイミング（県民アンケート）

社会人

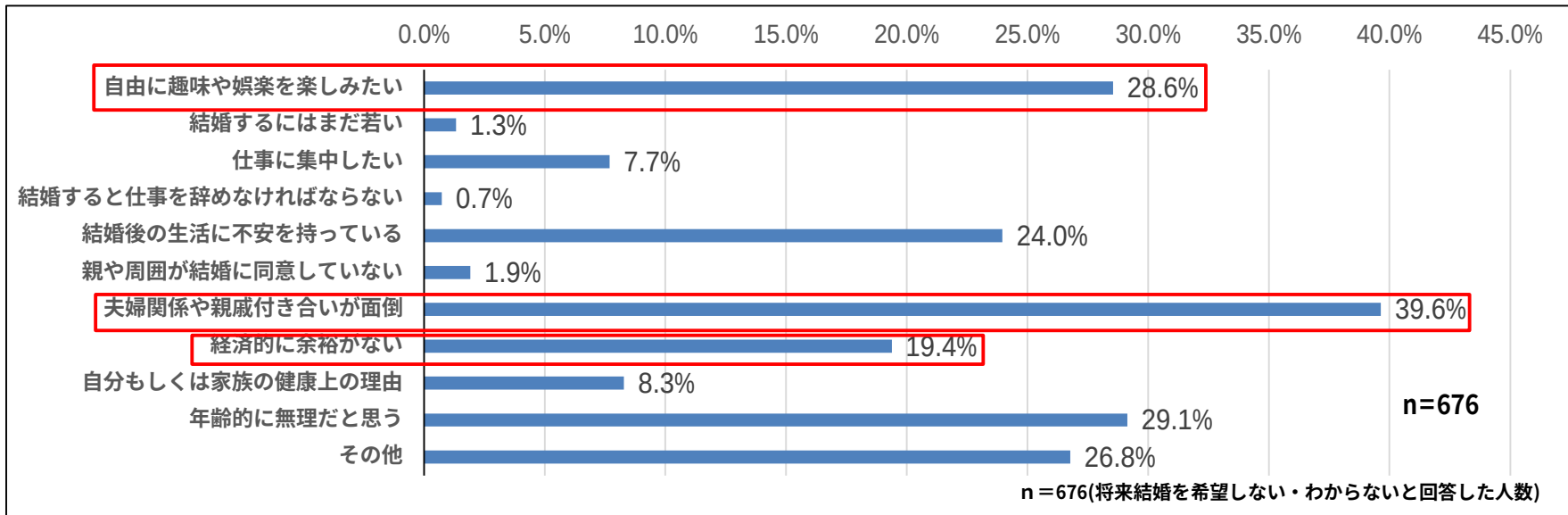


学生・生徒

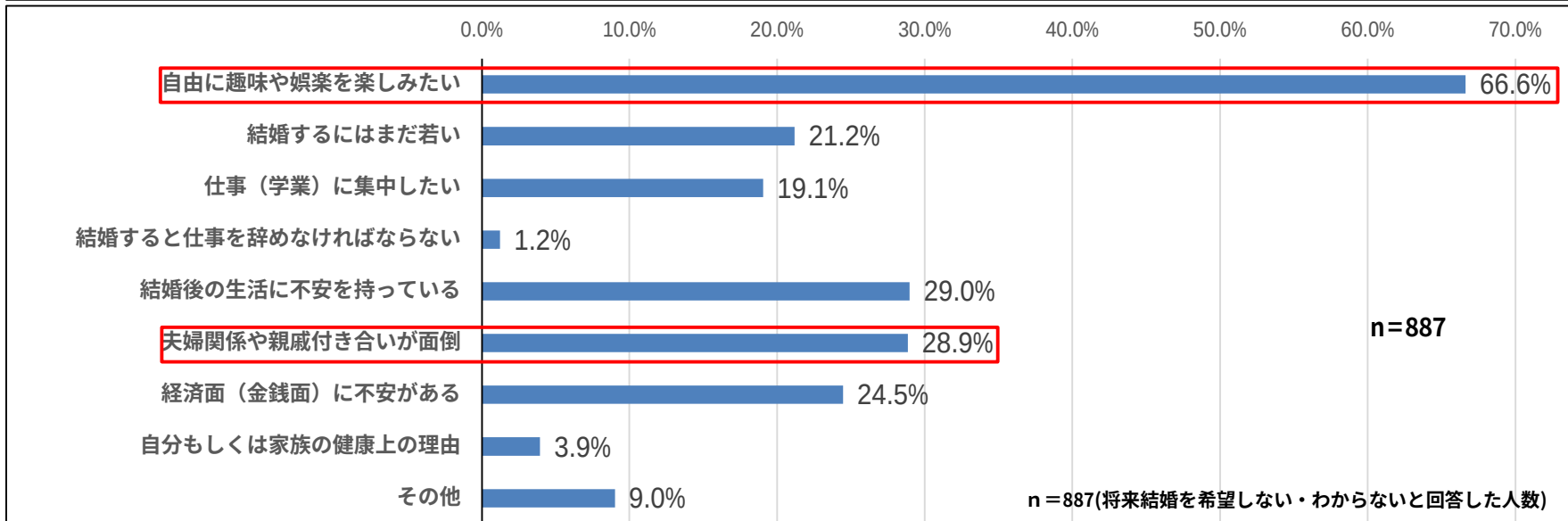


結婚したくない理由（県民アンケート）

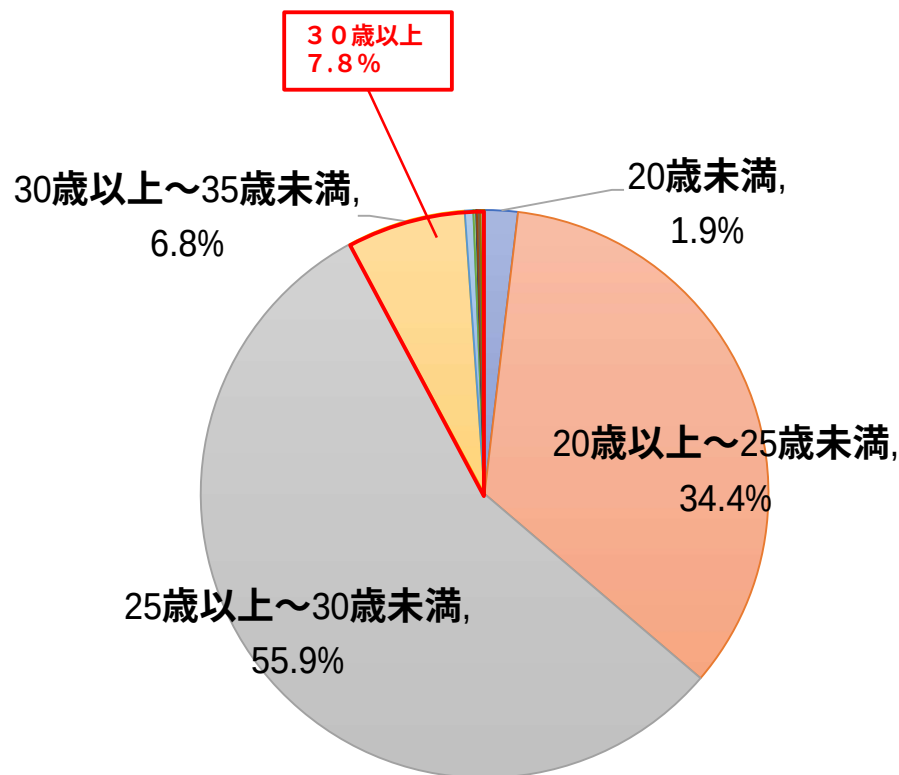
社会人



学生・生徒



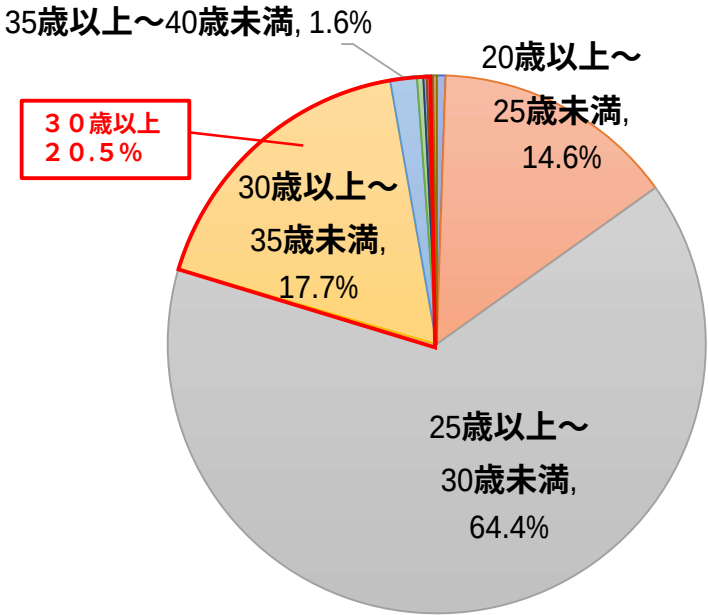
理想の結婚年齢（学生・生徒/県民アンケート）



		度数	%	有効%
有効	20歳未満	56	1.5%	1.9%
	20歳以上～25歳未満	1019	26.5%	34.4%
	25歳以上～30歳未満	1656	43.0%	55.9%
	30歳以上～35歳未満	201	5.2%	6.8%
	35歳以上～40歳未満	14	0.4%	0.5%
	40歳以上～45歳未満	5	0.1%	0.2%
	45歳以上～50歳未満	1	0.0%	0.0%
	50歳以上～55歳未満	4	0.1%	0.1%
	55歳以上～60歳未満	2	0.1%	0.1%
	60歳以上	7	0.2%	0.2%
	合計	2965	77.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	887	23.0%	
合計		3852	100.00%	

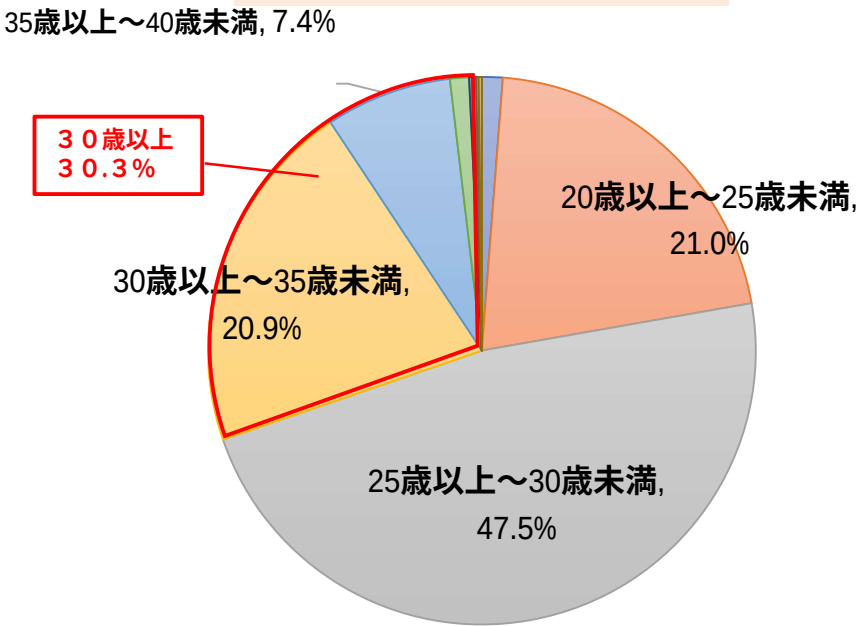
理想の結婚年齢と実際に結婚した年齢（社会人/県民アンケート）

理想



	回答	度数	%	有効%
有効	20歳未満	42	0.5%	0.5%
	20歳以上～25歳未満	1,149	13.4%	14.6%
	25歳以上～30歳未満	5,076	59.3%	64.4%
	30歳以上～35歳未満	1,394	16.3%	17.7%
	35歳以上～40歳未満	126	1.5%	1.6%
	40歳以上～45歳未満	30	0.4%	0.4%
	45歳以上～50歳未満	16	0.2%	0.2%
	50歳以上～55歳未満	21	0.2%	0.3%
	55歳以上～60歳未満	9	0.1%	0.1%
	60歳以上	17	0.2%	0.2%
	合計	7,880	92.1%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	676	7.9%	
合計		8,556	100.00%	

現実

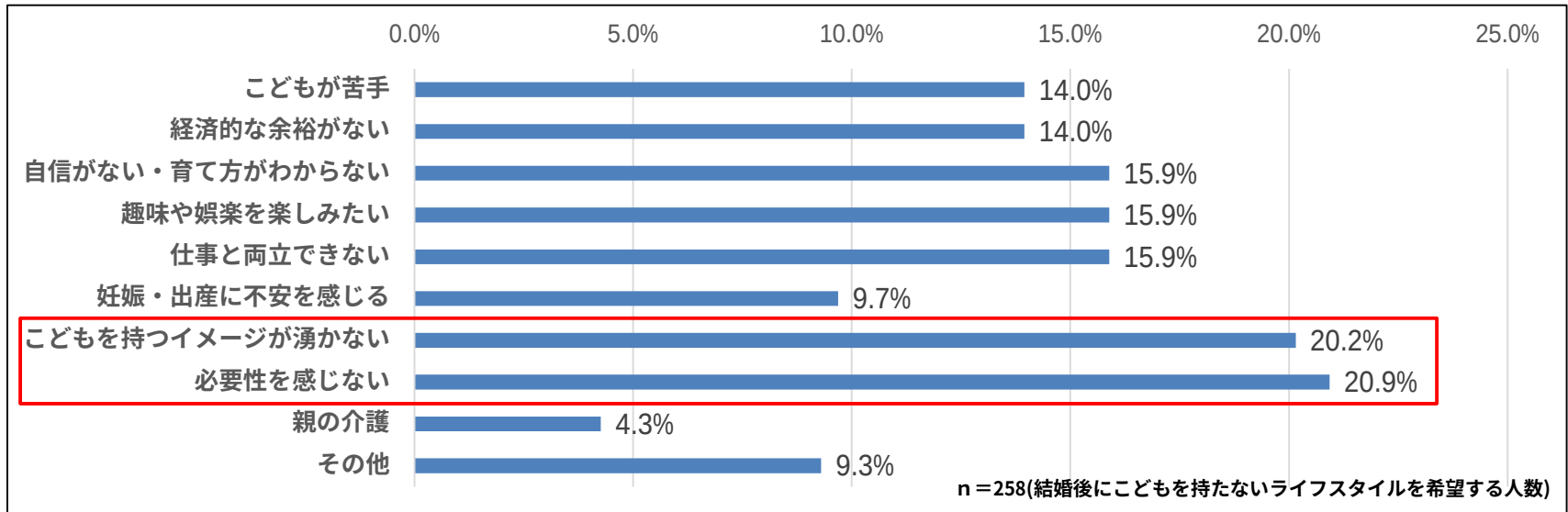


	回答	度数	%	有効%
有効	20歳未満	88	1.1%	1.2%
	20歳以上～25歳未満	1506	19.2%	21.0%
	25歳以上～30歳未満	3406	43.4%	47.5%
	30歳以上～35歳未満	1502	19.1%	20.9%
	35歳以上～40歳未満	534	6.8%	7.4%
	40歳以上～45歳未満	80	1.0%	1.1%
	45歳以上～50歳未満	18	0.2%	0.3%
	50歳以上～55歳未満	12	0.2%	0.2%
	55歳以上～60歳未満	11	0.1%	0.2%
	60歳以上	13	0.2%	0.2%
	合計	7170	91.4%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	676	8.6%	
合計		7846	100.00%	

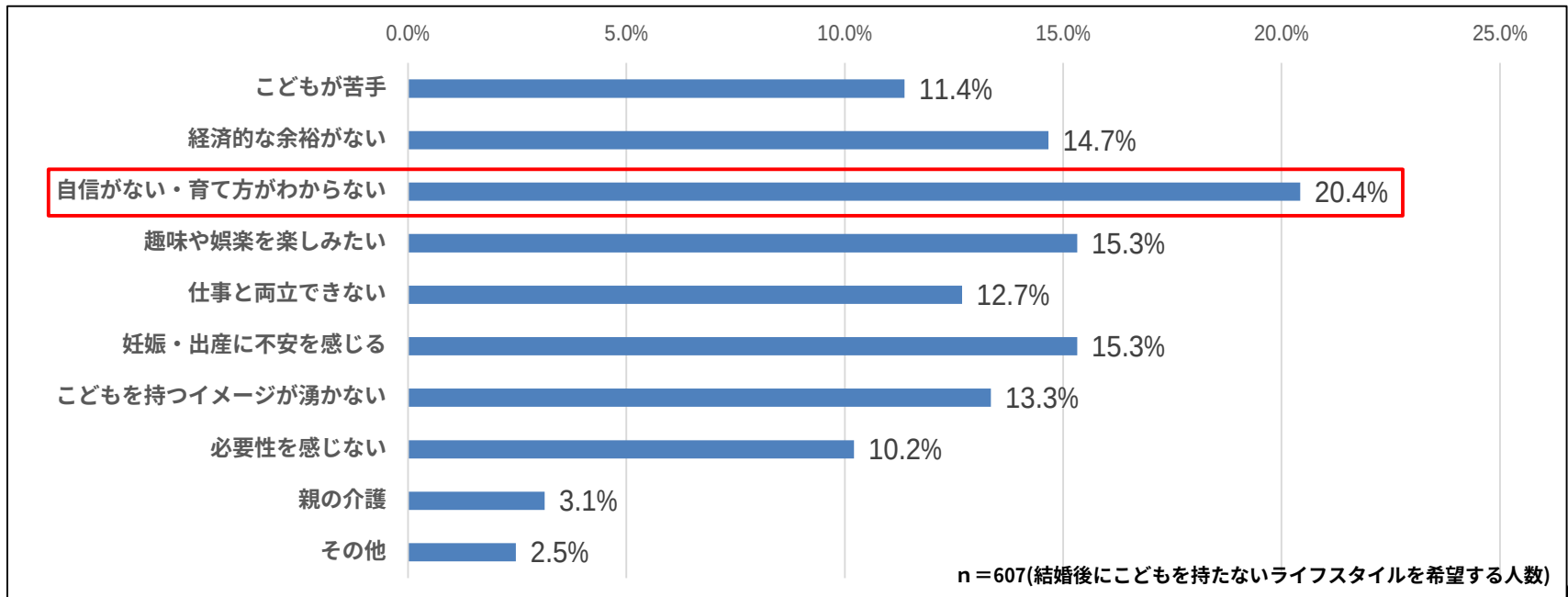
4. こども・子育て関係

こどもを持たないライフスタイル希望の理由（県民アンケート）

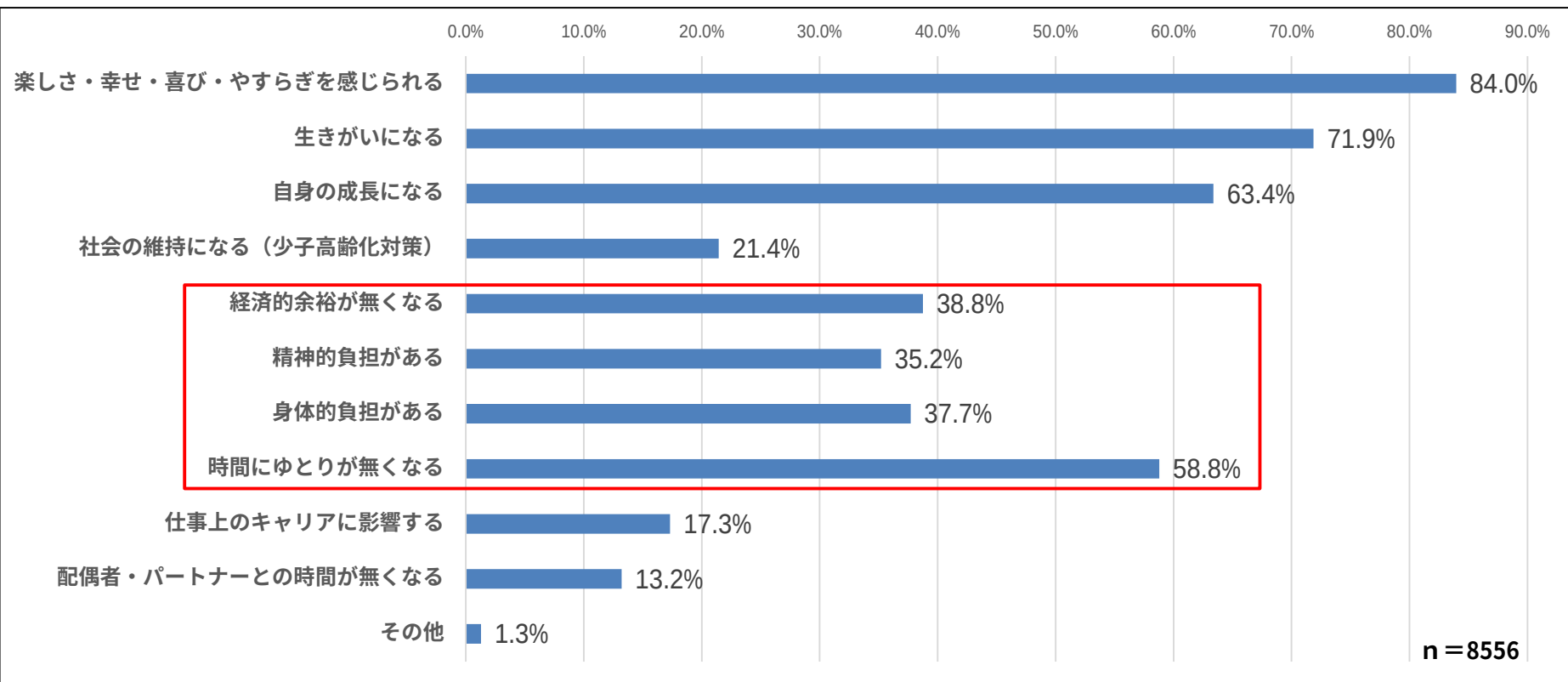
社会人



学生・生徒



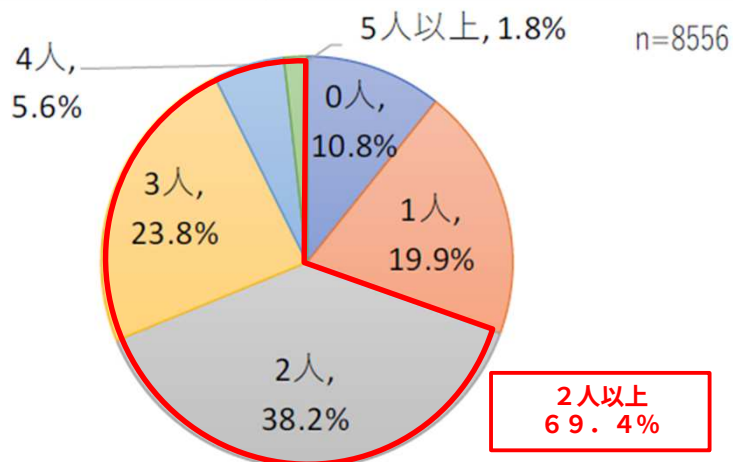
子育てに対するイメージ（社会人/県民アンケート）



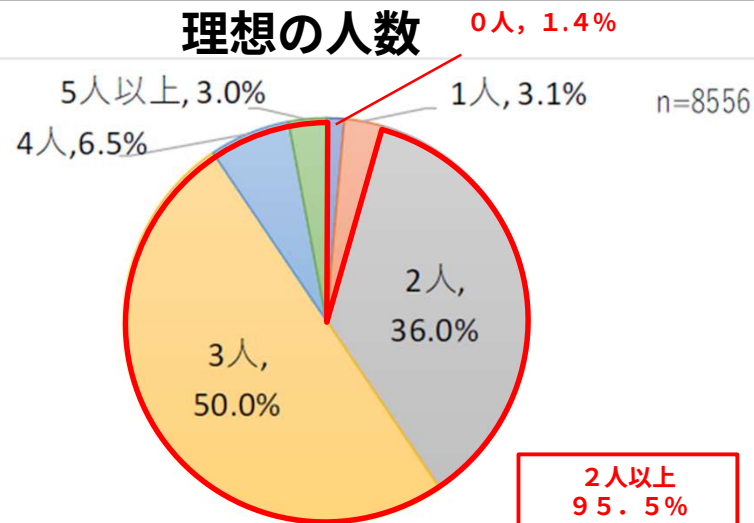
こどもの人数（県民アンケート）

社会人

現在

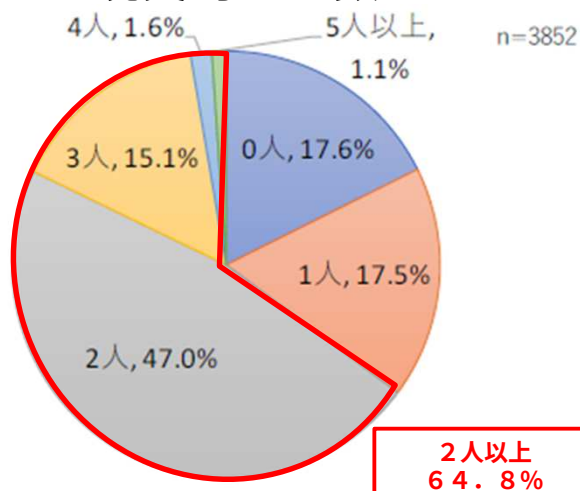


理想の人数

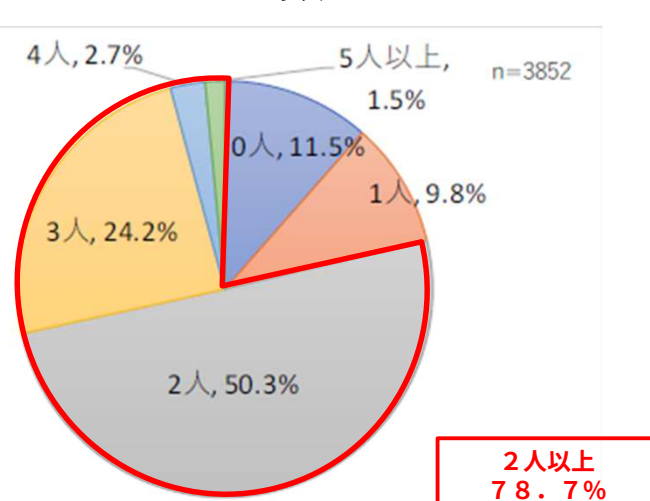


学生・生徒

現実的な人数

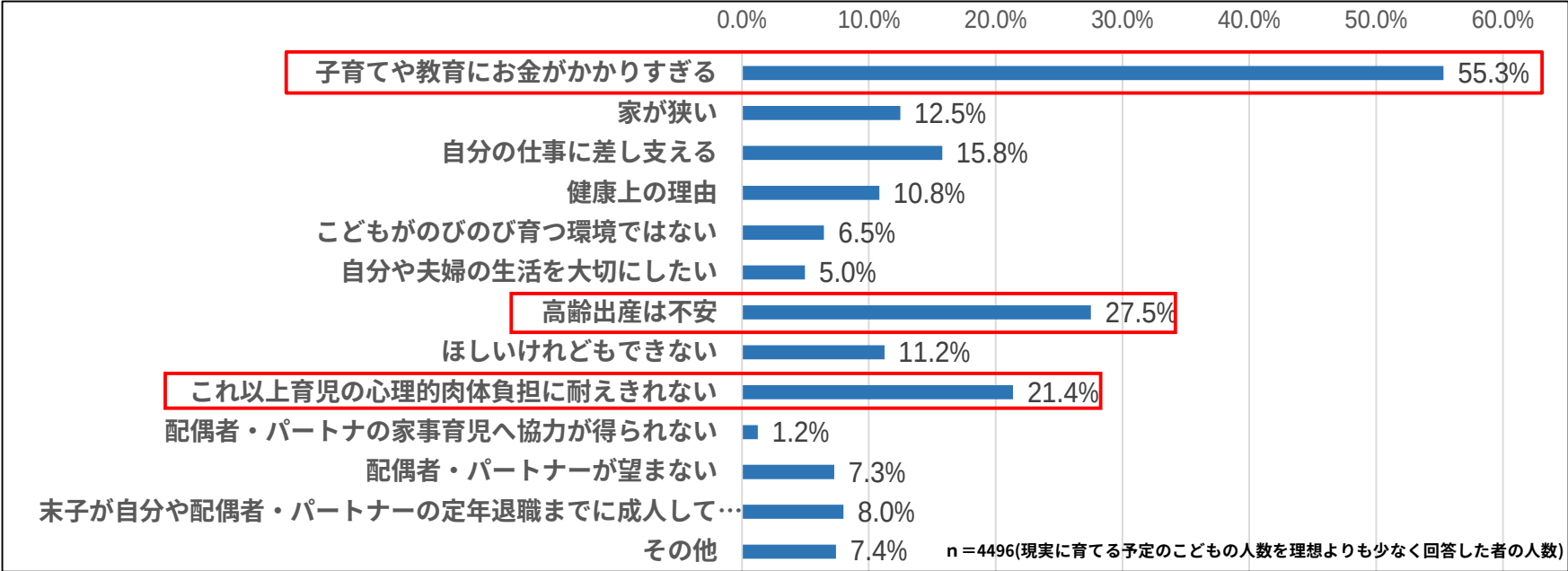


理想の人数

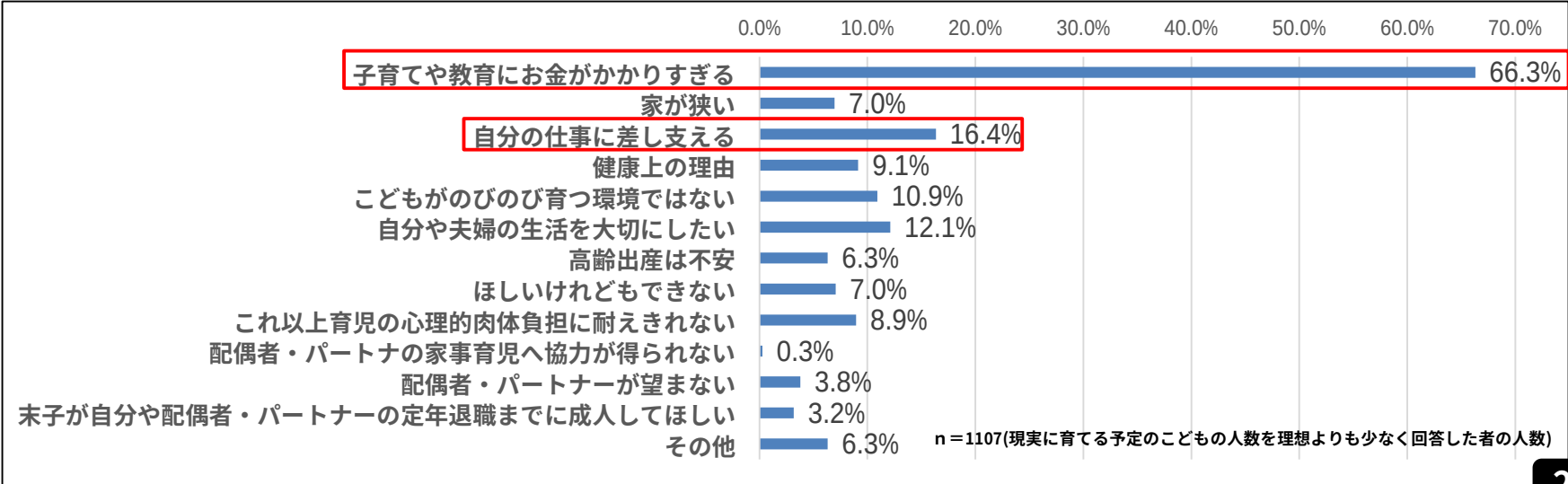


理想のこどもの人数より少ない理由（県民アンケート）

社会人



学生・生徒



熊本県における世帯数・世帯人数・世帯の内訳

	S 6 0 年	H 7 年	H 1 2 年	H 1 7 年	H 2 2 年	H 2 7 年	H 3 0 年	R 2 年
世帯数	553,963	618,211	647,216	667,533	688,234	704,730	716,926	719,154
人口総数	1,837,747	1,859,793	1,859,344	1,842,233	1,817,426	1,786,170	1,757,077	1,738,301
世帯当たり 人員	3.32	3.01	2.87	2.69	2.64	2.53	2.45	2.42

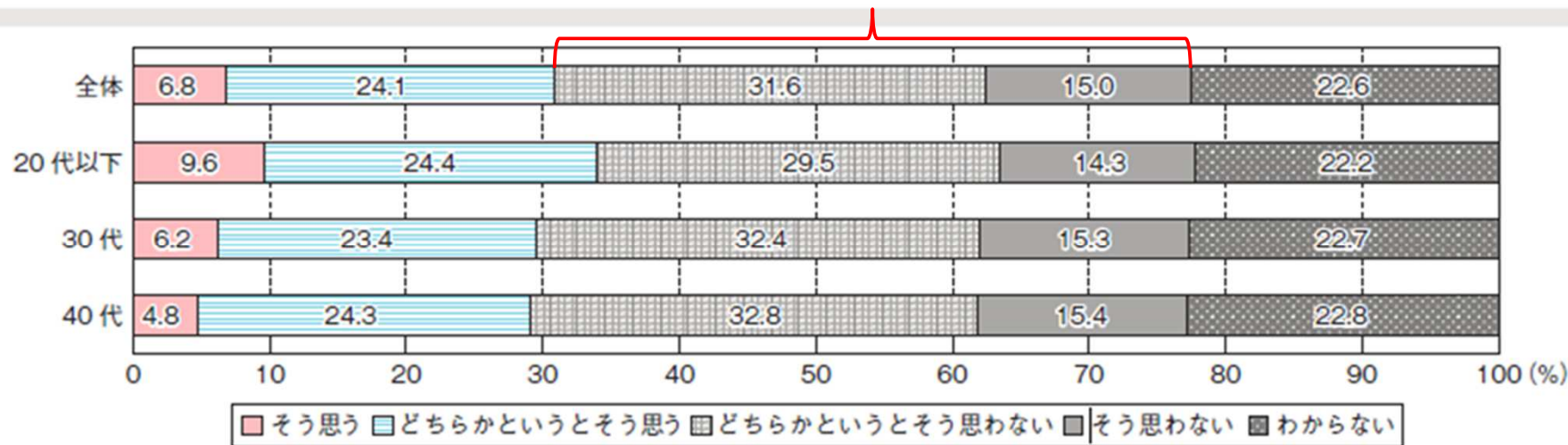
	S 6 0 年		H 7 年		H 1 2 年		H 1 7 年		H 2 2 年		H 2 7 年		R 2 年	
	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合
一般世帯数	551,628	100%	615,744	100%	644,963	100%	664,338	100%	686,123	100%	702,565	100%	716,740	100%
核家族世帯数	312,390	56.6%	344,491	55.9%	362,400	56.2%	373,261	56.2%	382,235	55.7%	394,256	56.1%	396,063	55.3%
3 世代世帯数	105,559	19.1%	91,729	14.9%	82,017	12.7%	72,412	10.9%	61,000	8.9%	55,896	8.0%	43,735	6.1%
単独世帯数	102,336	18.6%	143,171	23.3%	161,483	25.0%	176,246	26.5%	197,270	28.8%	217,228	30.9%	242,940	33.9%

国勢調査 (R2.10.1)

「保護者の子育てが地域で支えられている」と思う人の割合（全国）

（どちらかという）そう思わない

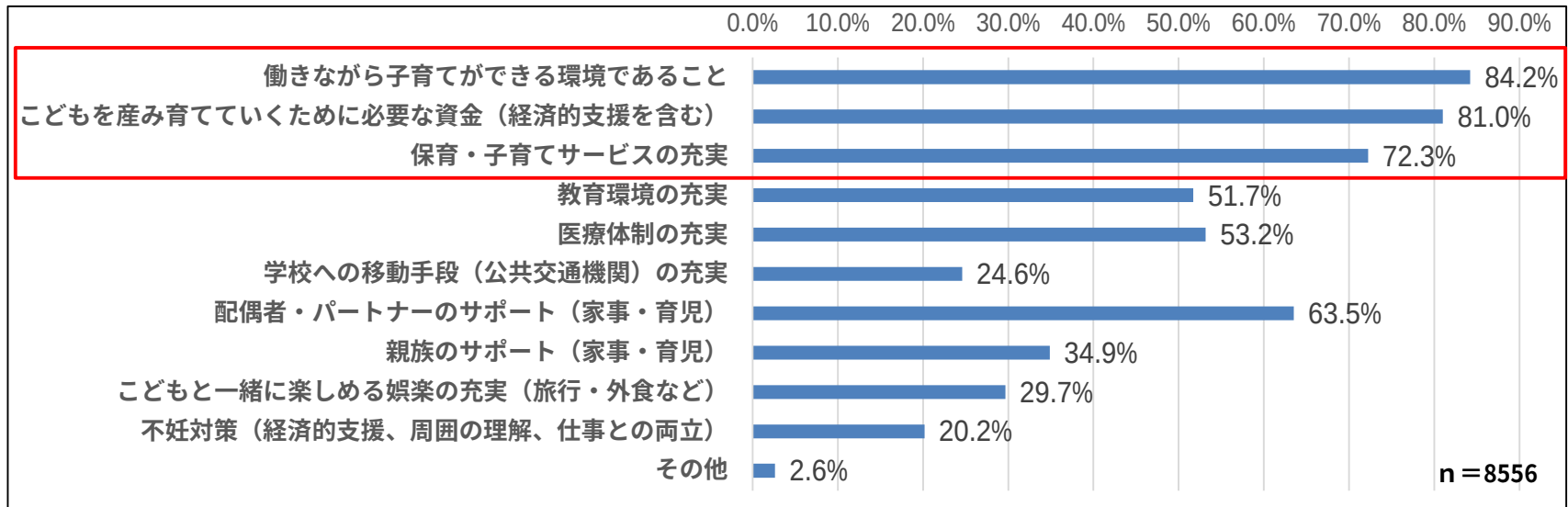
46.6%



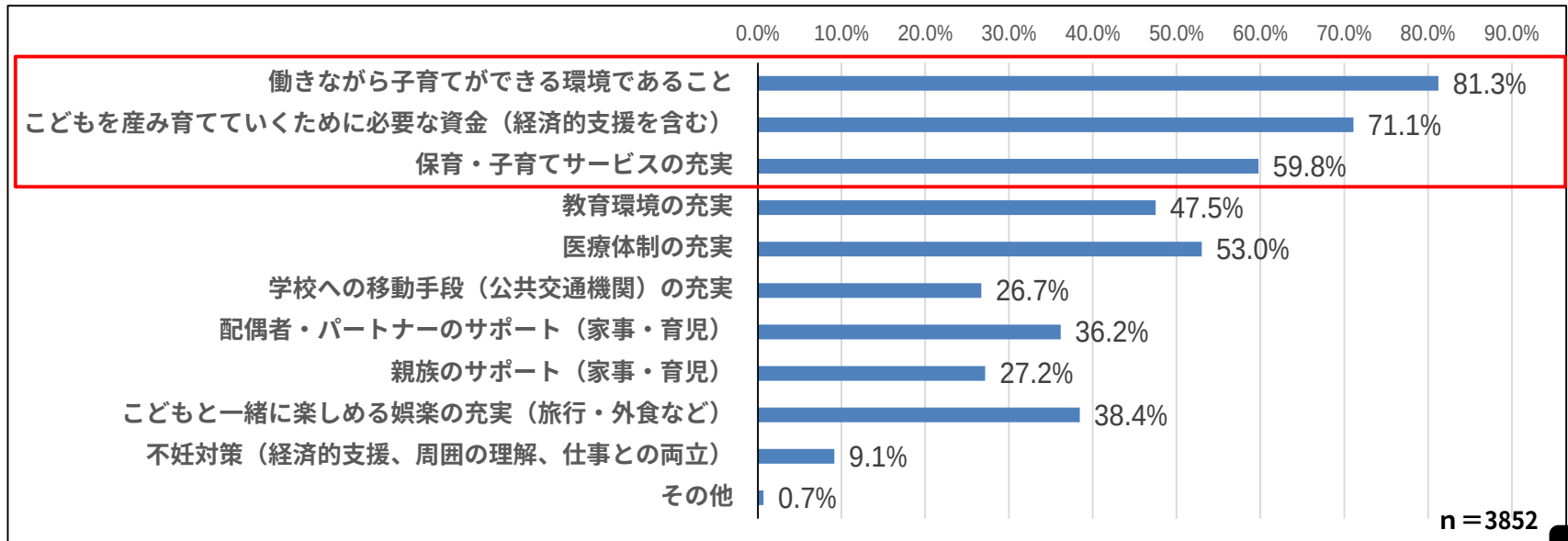
出典：こども家庭庁「こども政策の推進に関する意識調査」（2023年度）

子育てに必要な支援（県民アンケート）

社会人

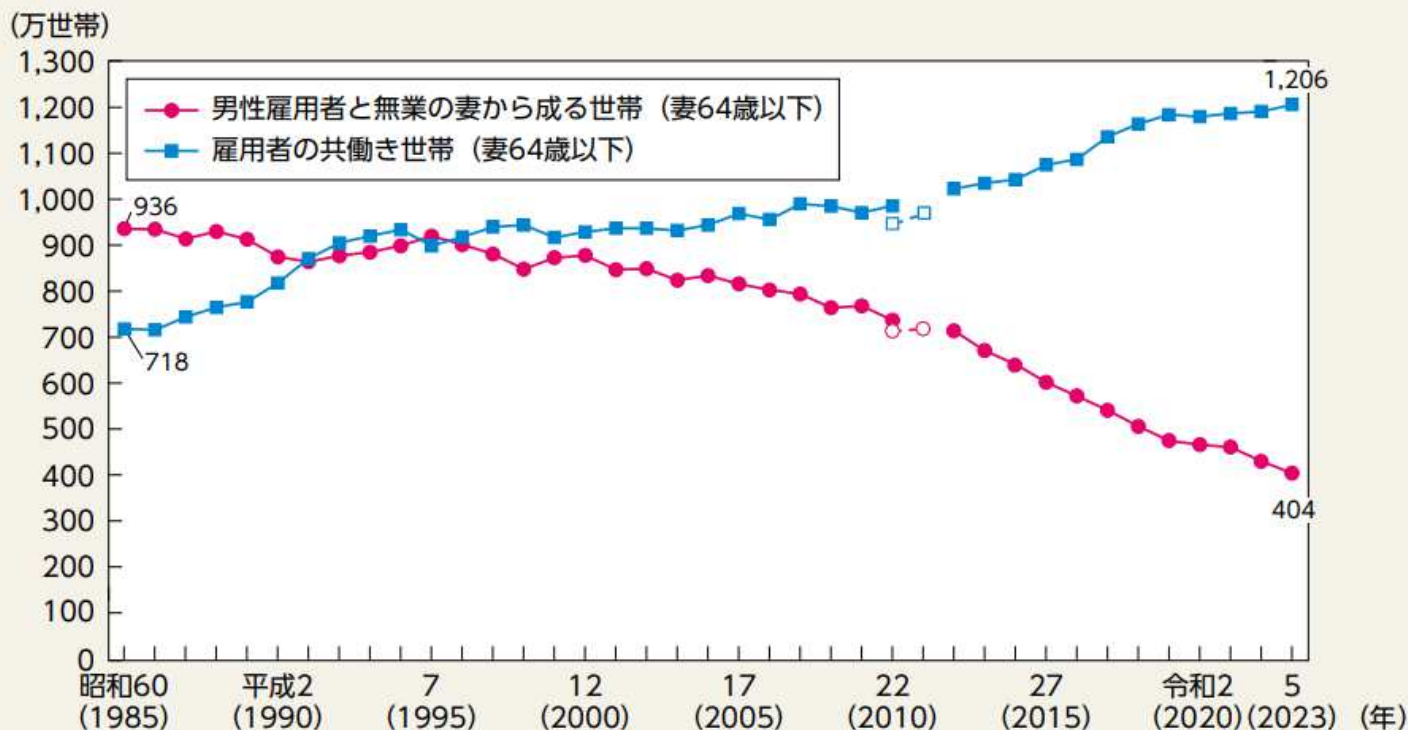


学生・生徒



5．働きながら子育てができる環境

共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移 (妻が64歳以下の世帯/全国)



- (備考) 1. 昭和60 (1985) 年から平成13 (2001) 年までは総務庁「労働力調査特別調査」(各年2月)、平成14 (2002) 年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。「労働力調査特別調査」と「労働力調査(詳細集計)」とでは、調査方法、調査月等が相違することから、時系列比較には注意を要する。
2. 「男性雇用者と無業の妻から成る世帯(妻64歳以下)」とは、平成29 (2017) 年までは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者(非労働力人口及び完全失業者)かつ妻が64歳以下世帯。平成30 (2018) 年以降は、就業状態の分類区分の変更に伴い、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者(非労働力人口及び失業者)かつ妻が64歳以下の世帯。
3. 「雇用者の共働き世帯(妻64歳以下)」とは、夫婦ともに非農林業雇用者(非正規の職員・従業員を含む)かつ妻が64歳以下の世帯。
4. 平成22 (2010) 年及び23 (2011) 年の値(白抜き表示)は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。
5. 平成23 (2011) 年、25 (2013) 年から28 (2016) 年、30 (2018) 年から令和3 (2021) 年は、労働力調査の時系列接続用数値を用いている。

男性の育児休業取得状況（熊本県）

図17-1: 正社員・正職員の育児休業取得状況

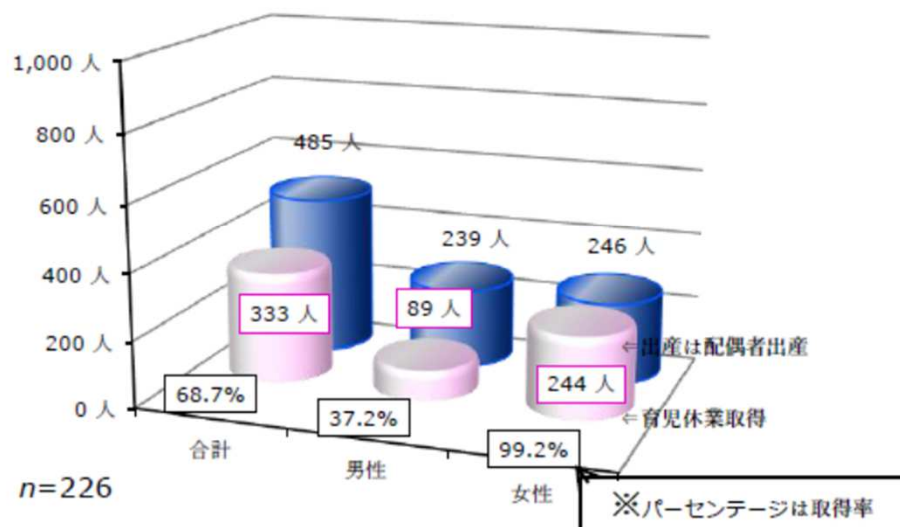
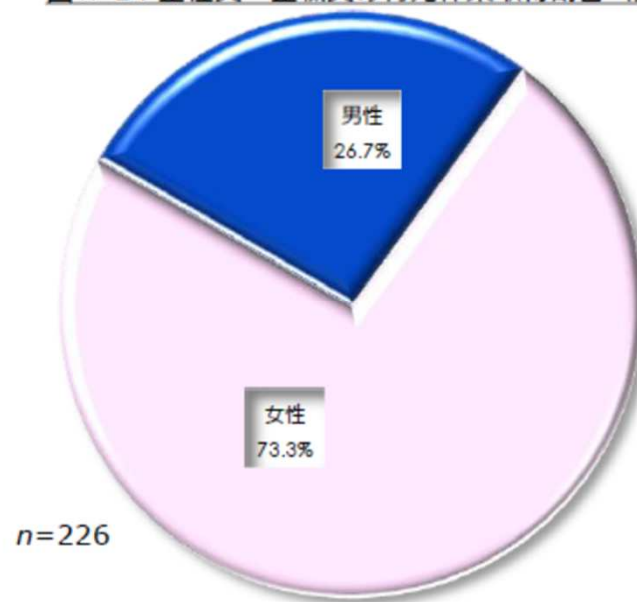
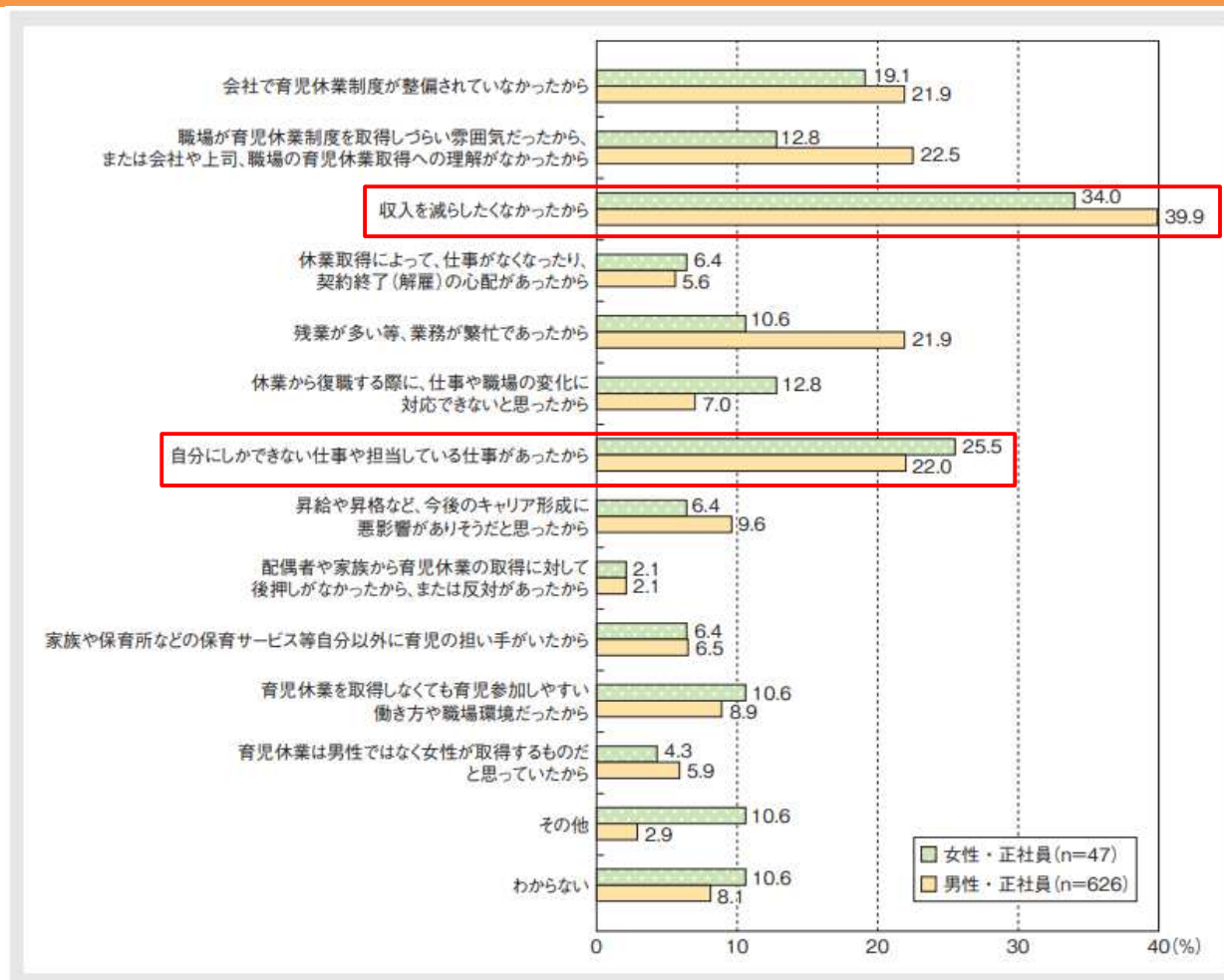


図17-2: 正社員・正職員の育児休業取得割合（男女別）



育児休業制度を利用しなかった理由（全国）



(出典) 日本能率協会総合研究所「仕事と育児の両立等に関する実態把握のための調査研究事業」(労働者調査)(令和4年度厚生労働省委託事業)

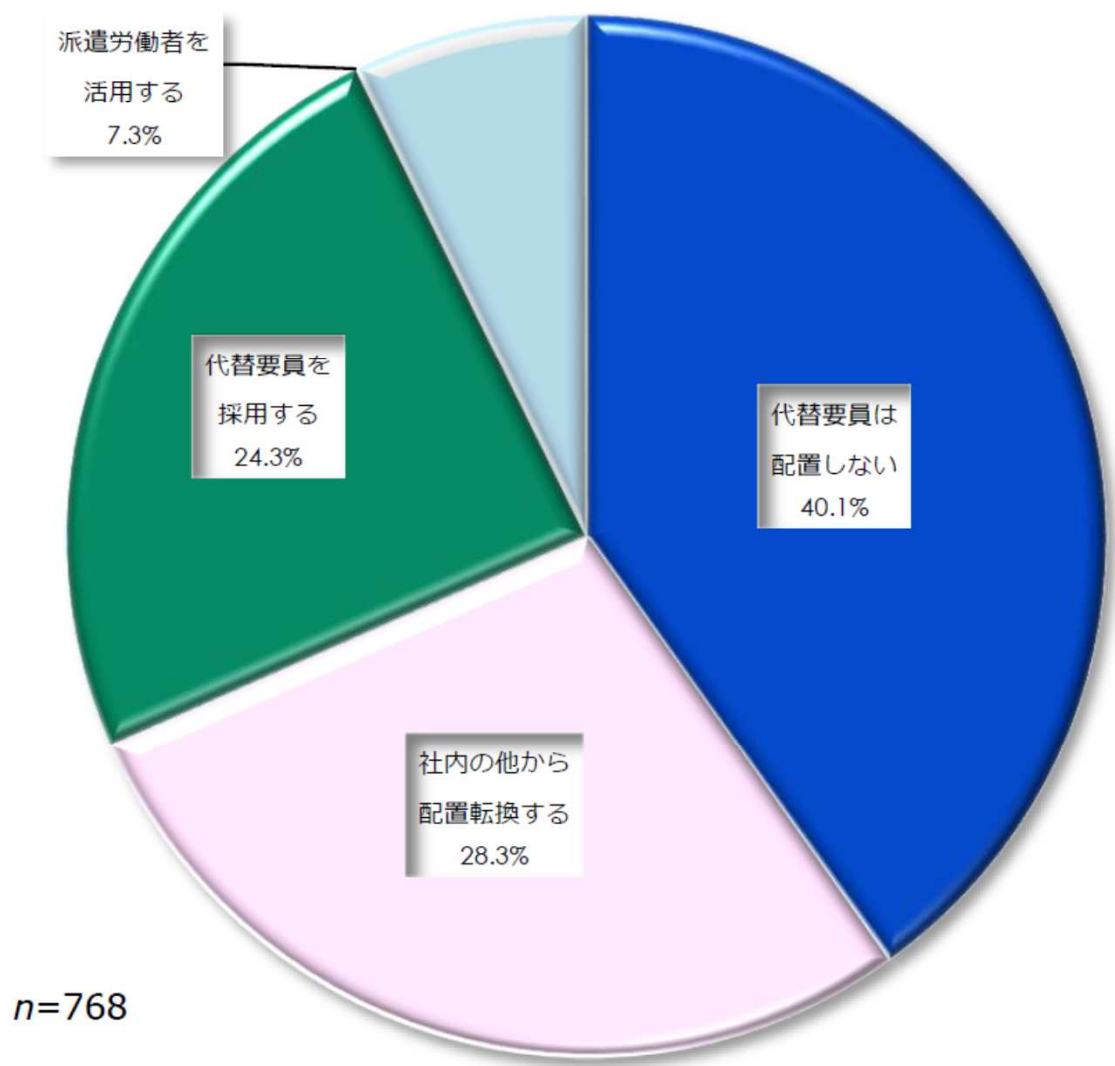
(注1) 小学校4年生未満の子の育児を行いながら就労し、約10年以内に妊娠・出産・育児のために離職した経験のない労働者を対象としたアンケート調査。

(注2) 就労形態は末子妊娠判明時のもの。

(注3) 末子の育児のための休暇・休業制度のうち育児休業において、「利用したことはないが、利用したかった(利用したい)」、「利用したことはなく、利用希望もない」のいずれかを選択した回答者を集計対象とする。

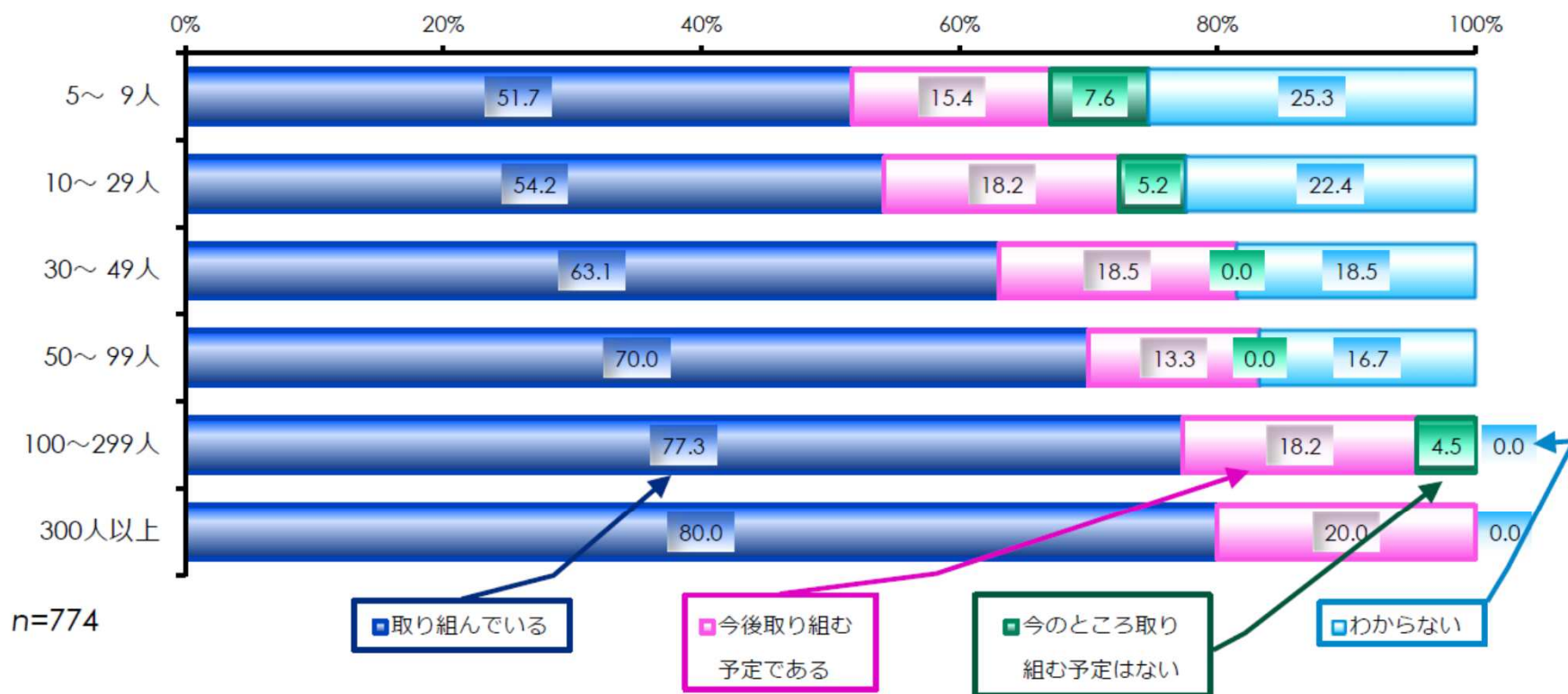
(注4) 複数回答可。

育児休業中・介護休業中の代替要員の採用・配置（熊本県）

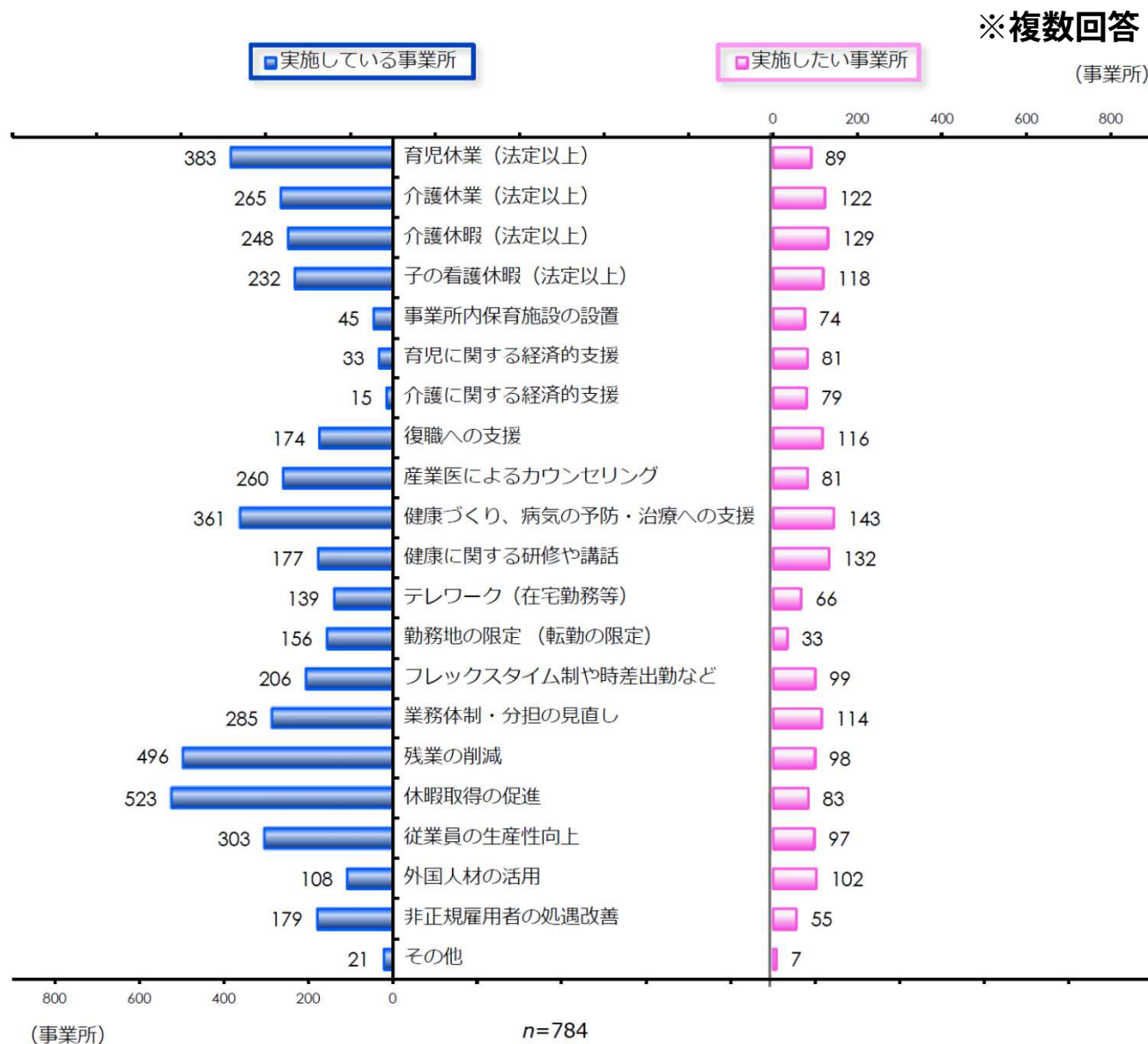


出典：令和5年度（2023年度）熊本県労働条件等実態調査報告書P24より抜粋

ワーク・ライフ・バランスの取組状況（熊本県）

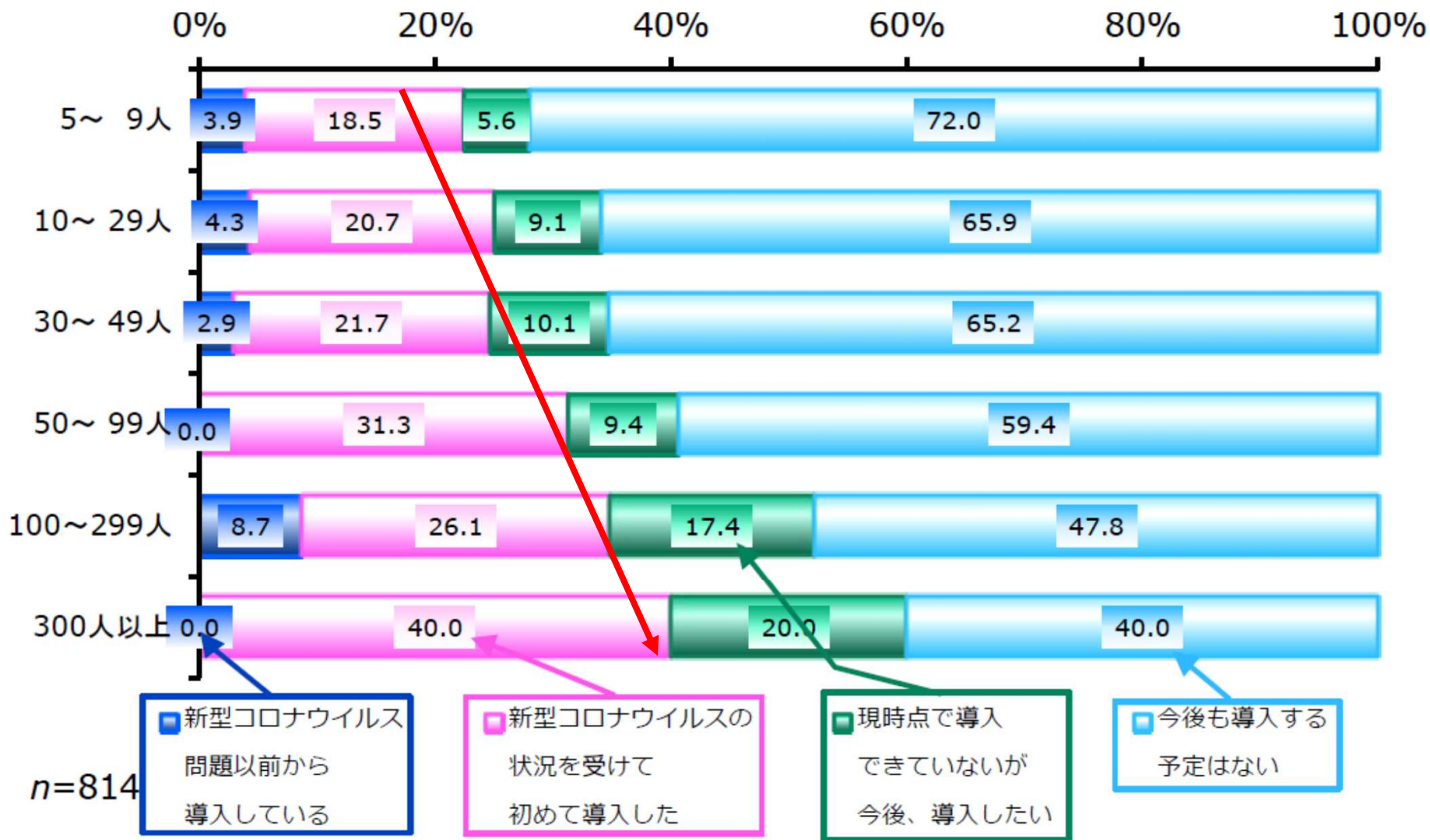


ワーク・ライフ・バランスの取組内容（熊本県）



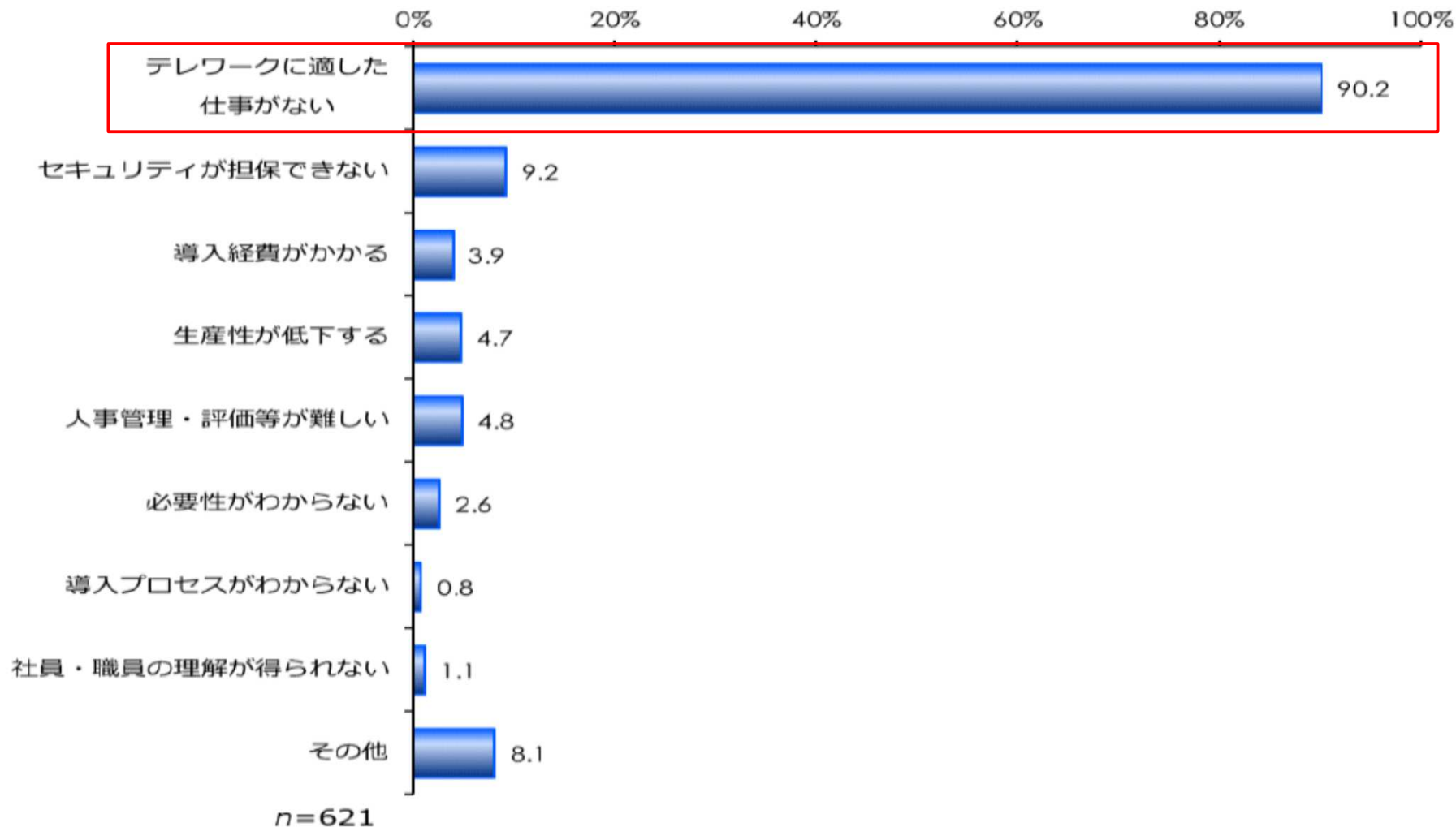
出典：令和5年度（2023年度）熊本県労働条件等実態調査報告書P28より抜粋

テレワークの導入状況（熊本県）



テレワークを導入していない理由（熊本県）

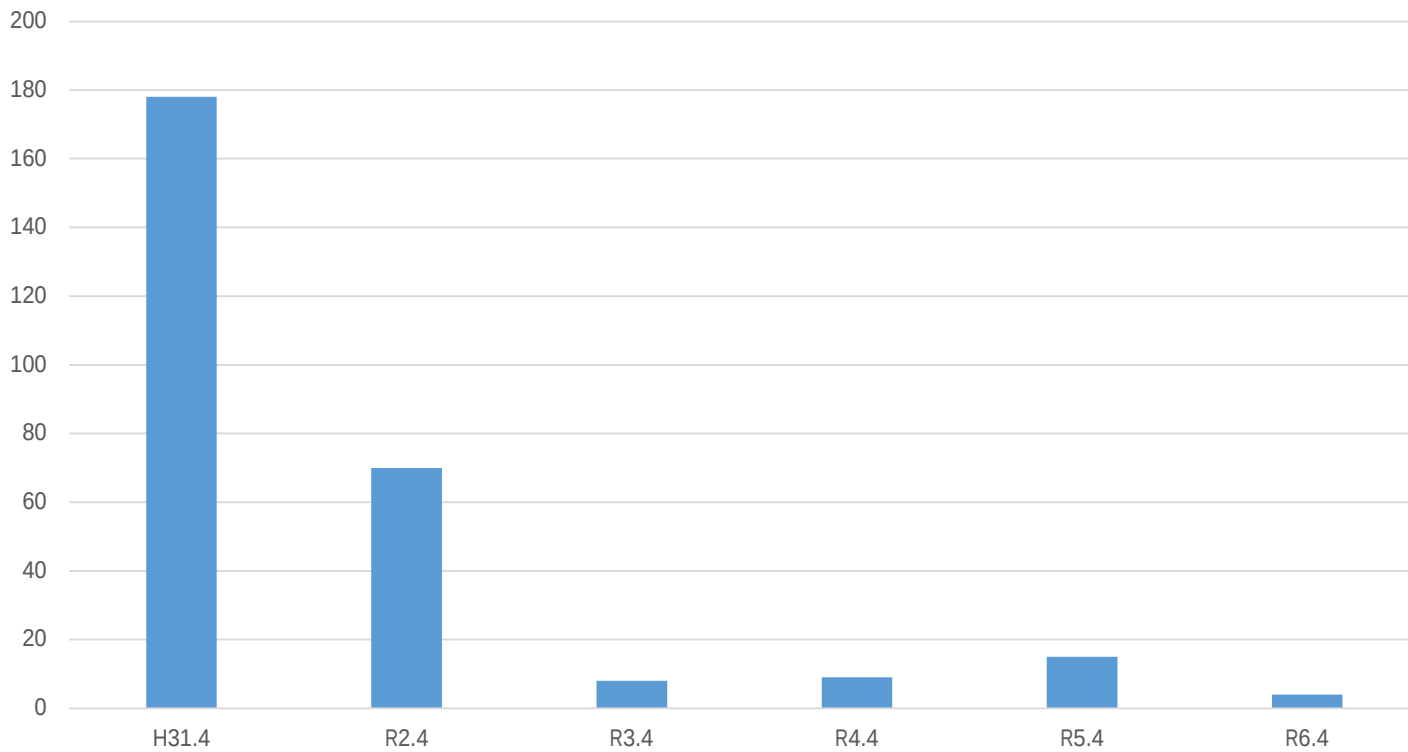
※複数回答



熊本県の待機児童数

(単位：人)

	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4
待機児童数	178	70	8	9	15	4

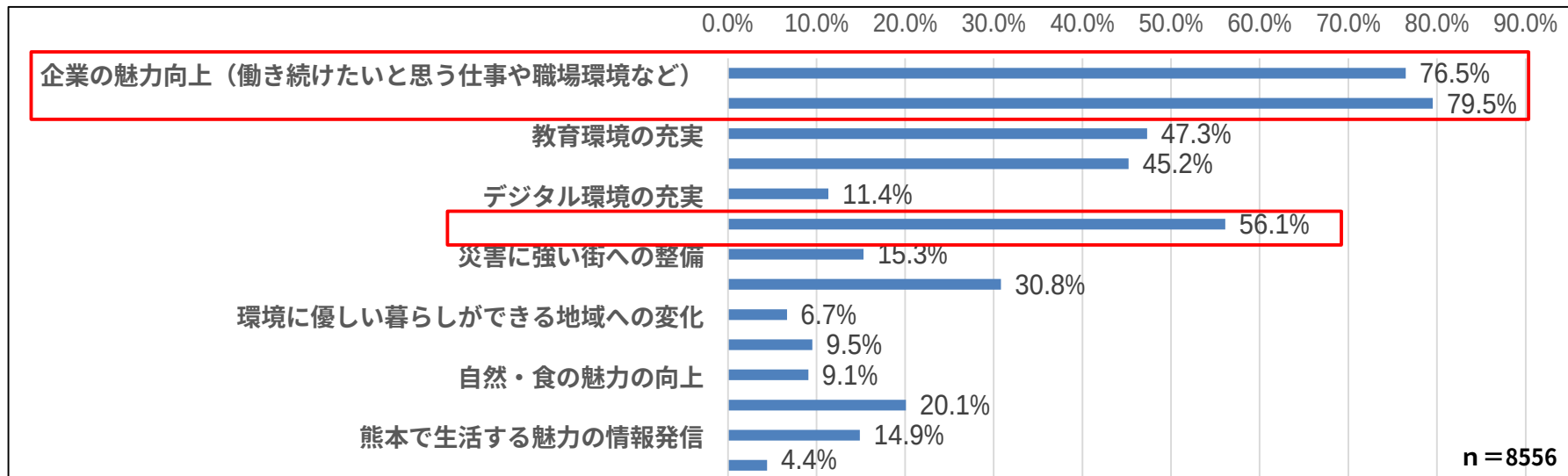


6. その他

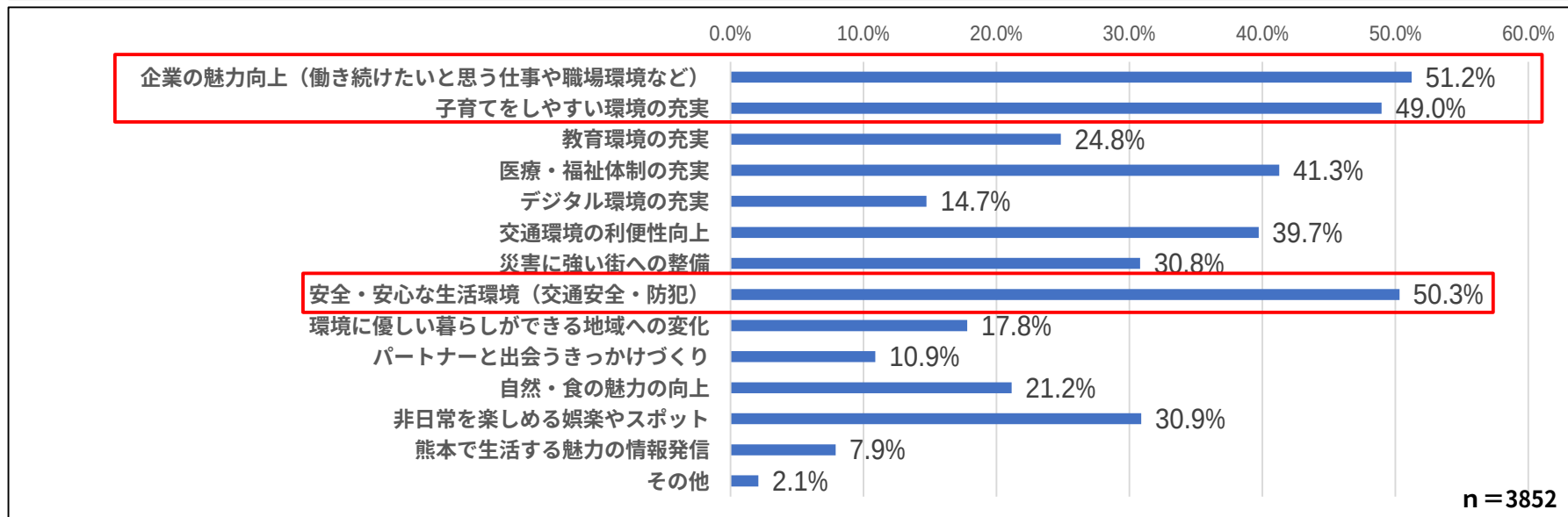
若年層が熊本に定着するために充実させるべきもの（社会人/県民アンケート）
もし熊本で社会人として生活していくとしたら、充実させてほしいもの（学生・生徒/県民アンケート）

※複数回答

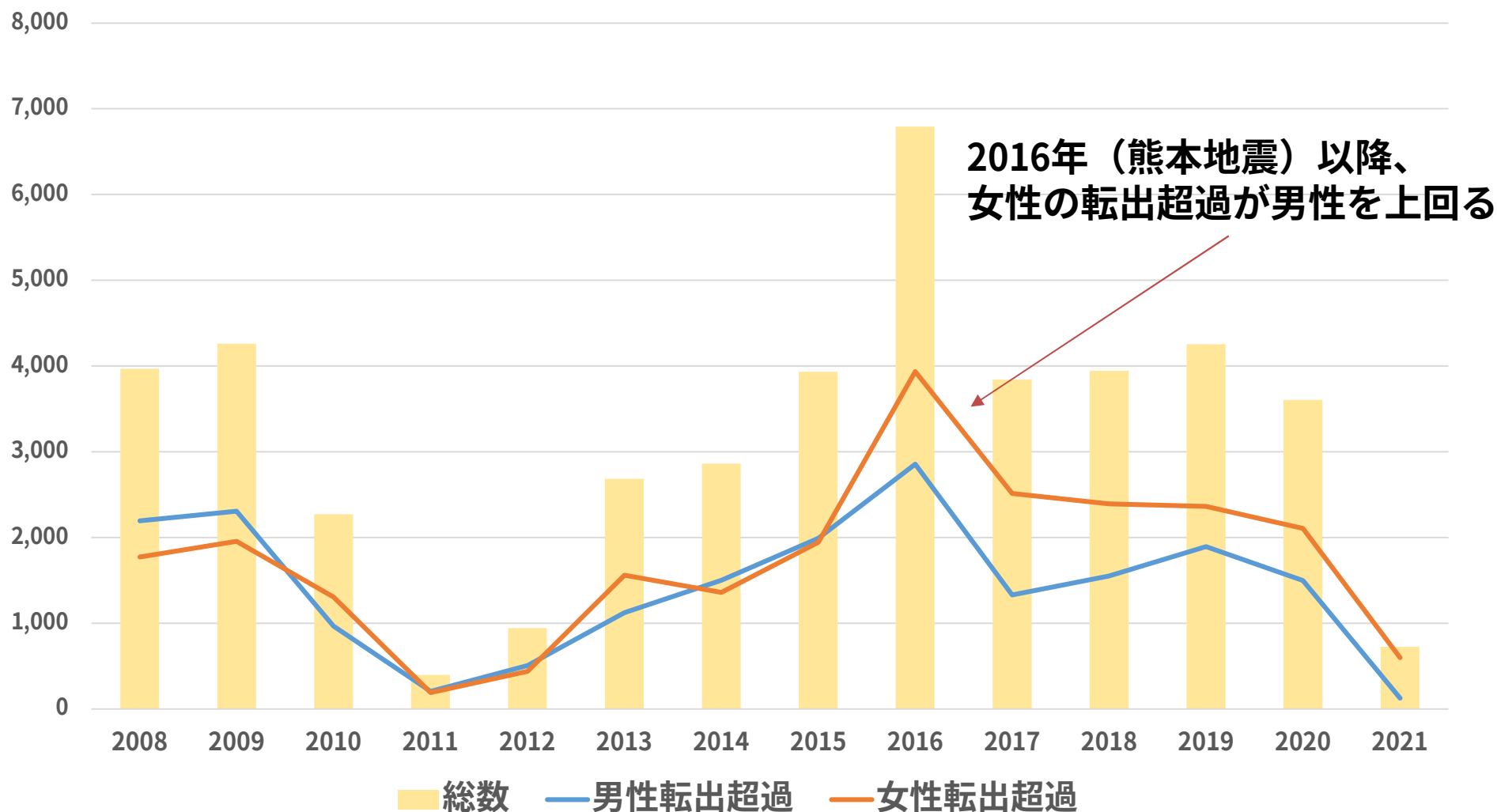
社会人



学生・生徒

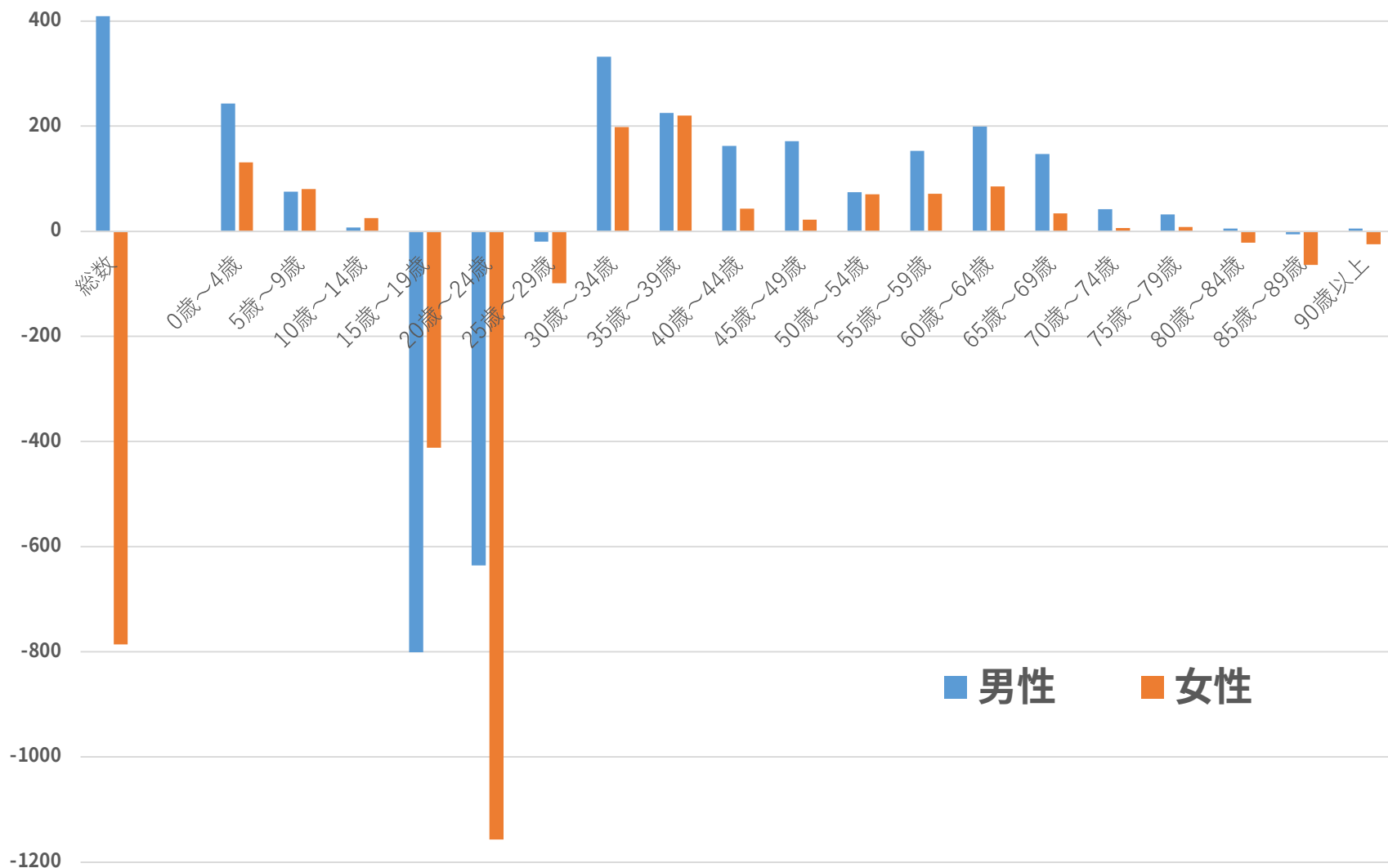


熊本県人口男女別社会増減（転出超過）



出典：『熊本県統計年鑑（平成25年～令和4年）』を基に子ども未来課作成。

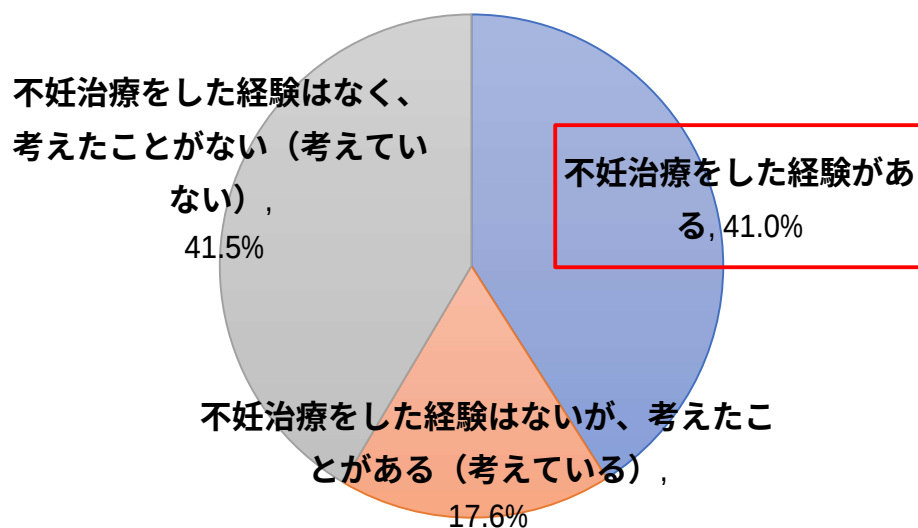
2022年熊本県 5歳階級・男女別転入転出



出典：総務省『住民基本台帳』を基に子ども未来課作成。

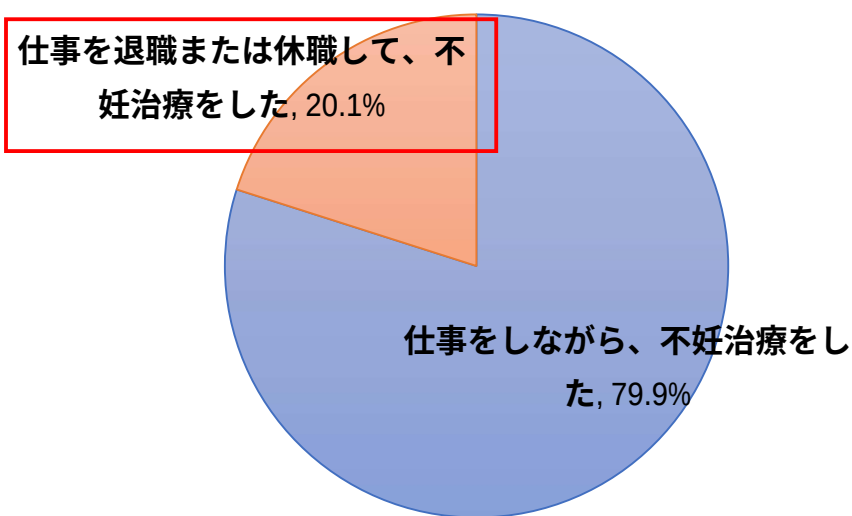
不妊治療の経験と不妊治療期間での働き方（社会人/県民アンケート）

不妊治療の経験



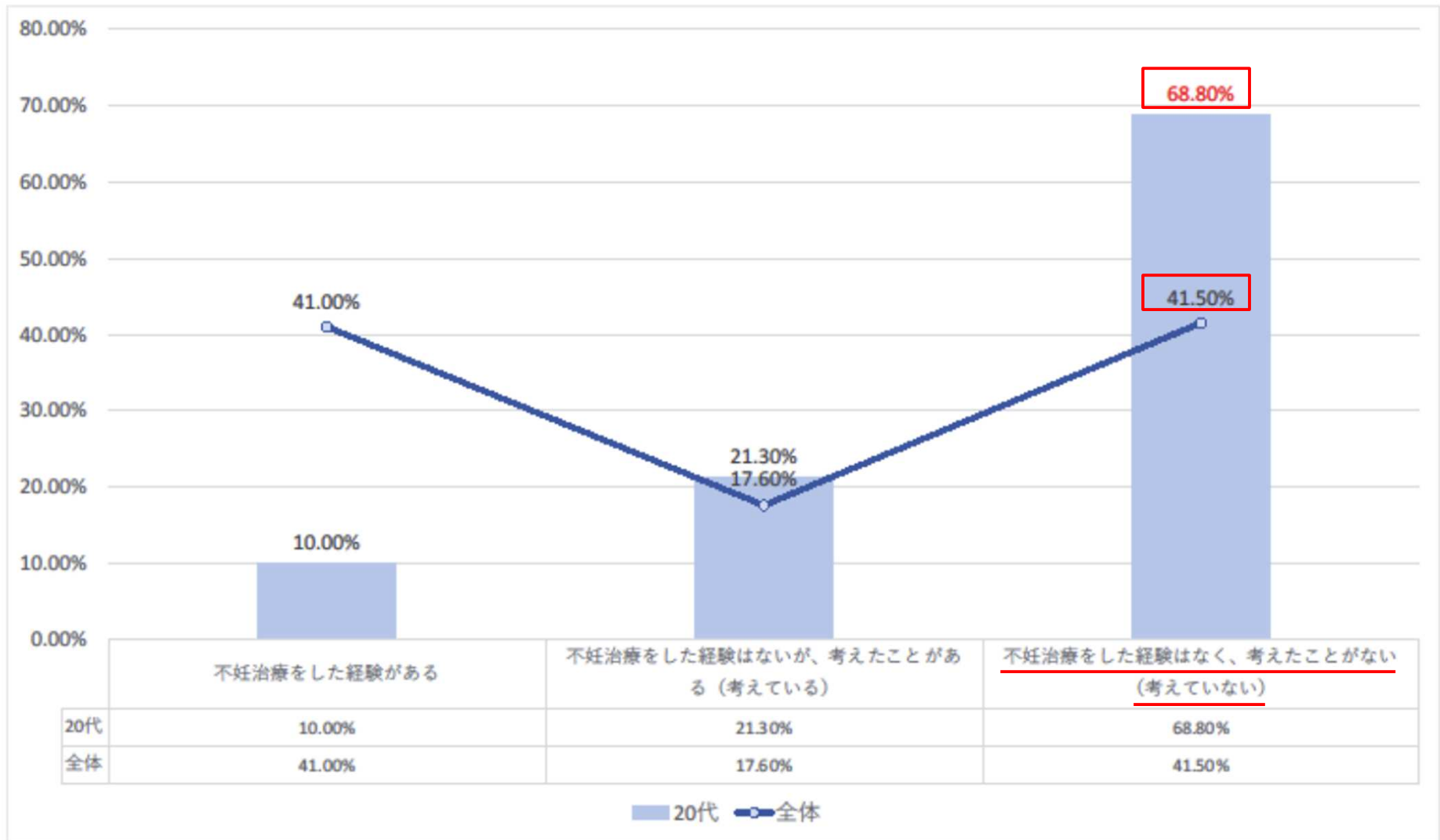
n=1726(子育て支援として不妊治療が必要と回答した人数)

不妊治療期間の働き方



n=707(子育て支援として不妊治療が必要と回答した者のうち、不妊治療を経験したことがある者の人数)

20代×不妊治療経験（県民アンケート）



Q2年齢×Q39不妊治療経験（※表は一部抜粋）

$\chi^2=101.1$ 自由度=8 $p<0.001$

県民アンケート自由記述(抜粋)

- こどもを持ちたくないのは、この世界が嫌いだから。同じ経験をこどもにしてほしくない。
- 会社員は育休とか補償があるけど、個人事業者に雇われている国保の人にも目を向けてほしい。
- 夫婦ともに土日祝日仕事の人のことも考えて、保育環境を整えてほしい。
- 産後にどれだけ安心して子育てができるかが1番の鍵なのに、現実には産後ケアを受けるために様々な書類などが必要でそんな場合じゃないし里帰りで実家と陰悪な人もいるのに何も政府はわかっていないと思う
- 非課税世帯ばかりに給付金は不平等だと思う。しっかり働いている人たちはそれなりの税金を払っているのに、なぜ税金を払っていない人がお金をもらえるのか。
- 仕事をしていないと保育施設に預けられないが、保育施設に預けないと仕事ができないという意味の分からない矛盾した仕組みをなくすこと。
- 子育ても仕事だと思われていない風潮や制度が、子育て意欲をそぐし、仕事をしていないと悪のような流れがさらに少子化を加速すると思います。専業主婦が尊敬されない世の中は子育てを大切にしていない世の中だと思います。働く自由は残されるべきだけど、共働き育児は夫婦ともに過労になるだけで虐待にもつながるし、負担。共働き子育てのみ推奨される流れは効果的ではないと感じる。